

平成 25 年 度

全国学校保健調査集計結果報告

公益社団法人 日本薬剤師会
学 校 薬 剤 師 部 会
全 国 学 校 保 健 調 査 W G

平成 25 年 度
全国学校保健調査集計結果報告
 (公社)日本薬剤師会 学校薬剤師部会
 —— 全国学校保健調査WG ——

I. はじめに

全国学校保健調査は、全国の学校における環境衛生活動の実情を把握し、その充実や改善に役立てる目的で昭和47年から毎年調査項目を選定し実施されている。平成25年度の全国学校保健調査では、平成24年度の各学校における「学校環境衛生基準（平成21年文部科学省告示60号）」に基づいた「水泳プール」の定期検査及び日常点検状況について質問した。

また、今年度調査から、「学校環境衛生基準」に示される項目から調査対象項目を選定することにより定期検査等の実施状況のみならず、「学校環境衛生基準」への適合、不適合項目への指導助言及び改善状況等の流れが分かるようにした。さらに、基本データとして、学校薬剤師の活動状況についての調査項目を追加し、今後も継続して行うことにより推移をみることにした。

表1 学校設置数、有効回答数及び回答率（学校種別・学校設置区分）

学校種別	有効回答数 (設置数*)	学校設置区分				回答率(%)
		国立	公立	私立(組合立)	合計	
学 校 種 別	幼稚園	29 (49)	2,720 (4,817)	309 (8,177)	3,058 (13,043)	23.4
	小学校	44 (74)	16,482 (20,824)	36 (233)	16,562 (21,131)	78.4
	中学校	44 (73)	7,618 (9,756)	128 (799)	7,790 (10,628)	73.3
	高等学校 (高等専門学校)	30 (66)	3,030 (3,643)	253 (1,326)	3,313 (5,035)	65.8
	特別支援学校	26 (45)	767 (1,021)	1 (14)	794 (1,080)	73.5
	合 計	173 (307)	30,617 (40,061)	727 (10,549)	31,517 (50,917)	61.9
	回答率(%)	56.4	76.4	6.9	61.9	

*：平成25年度学校基本調査報告書（文部科学省）

II. 調査方法及び調査対象

調査対象は、全国の大学以外のすべての学校とした。

調査票（表2-1及び2-2）は、各都道府県薬剤師会等を通じて各学校に配布した。調査票の記入は、原則として担当学校薬剤師が行い、担当学校薬剤師が記入できない場合については、各学校に協力を求めた。

調査票は、各都道府県薬剤師会等を通じて回収し、(公社)日本薬剤師会学校薬剤師部会の全国学校保健調査WGが集計し、結果をとりまとめた。

全国の大学以外のすべての学校50,917校のうち、調査票を配布できた学校は42,013校（配布率：82.5%）であり、回答のあった学校数は31,592校（配布校に対する有効回収率：75.2%）であった。また、学校の種類等の基本データの欠落により集計不能の75校を除いた31,517校（回収数に対する有効回答率：99.8%）を対象に集計を行った（表1）。

集計結果は、各設問における有効回答校数に対する百分率で示し、小数点以下2桁目を四捨五入した。なお、組合立学校については私立学校、高等専門学校については高等学校にそれぞれ含めて集計を行った。

平成 25 年度全国学校保健調査 (平成 24 年 4 月～平成 25 年 3 月までの活動報告)

コピー不可

—学校におけるプールの定期検査と日常点検及び学校薬剤師活動について—

公益社団法人日本薬剤師会・学校薬剤師部会

記入・取扱 上の注意	1. 記入は必ずHBの黒鉛筆で正確に塗りつぶしてください。	4. 用紙をクリップやホッチキスで留めないでください。
	2. 訂正する場合は、消しゴムできれいに消してください。	記入例 良い例 ● 悪い例 ⊗ ⊙ ⊖
3. 用紙を汚したり、折り曲げたり、穴を開けたりしないでください。		

***調査方法、集計結果の発表等について**

1. この調査は学校薬剤師が行います。
2. この調査は平成24年度に行った活動結果についてお答えください。
3. 調査結果は集計した結果のみ発表し、個々の学校について発表することはありません。
4. この用紙は、一校につき一枚ずつ記入してください。

例えば、幼稚園と小学校が同一校地内にある場合、全日制高等学校と定時制高等学校が同一校舎を使用している場合、別の場所に分校がある場合、小中高等学校が一貫教育である場合などは、それぞれの学校につき一枚ずつ記入してください。

5. この調査についてのご質問や、記入済みの用紙のご提出は、各都道府県薬剤師会（学校薬剤師会）を通じてお願いします。

学校名	正式名で記入 (ゴム印が望ましい)	児童生徒数	人
所在地			
学校教職員の職名及び氏名			
学校薬剤師氏名	薬剤師名簿 登録番号	第 号	日本薬剤師会 会員ですか はい・いいえ
調査年月日	平成 2 5 年 月 日		

***基本データ（漏れなくマークしてください。マーク漏れがあると集計より除外されます。）**

A. 学校設置区分		① ⑤
1. 国立	2. 都道府県立	② ⑥
6. 村立	7. 組合立	③ ⑦
3. 区立	4. 市立	④ ⑧
5. 町立	8. 私立	① ⑤
B. 学校の種類		② ⑥
1. 幼稚園	2. 小学校	③ ⑦
5. 定時制高等学校	6. 特別支援学校	④ ⑧
3. 中学校	4. 全日制高等学校	① ⑤
7. 高等専門学校		② ⑥
C. 児童生徒数		③ ⑦
調査当日の在籍数をマークしてください。		④ ⑧
(ゼロもマークするようにしてください)		① ⑤
千の位		② ⑥
百の位		③ ⑦
十の位		④ ⑧
一の位		① ⑤
D. 都道府県コード（必ずマークしてください）		② ⑥
(ゼロもマークするようにしてください)		③ ⑦
十の位		④ ⑧
一の位		① ⑤

1. 職場についてお尋ねします。	① ⑤
①薬局開設者 ②薬局勤務 ③病院・診療所 ④卸 ⑤行政 ⑥製造管理 ⑦検査機関	② ⑥
⑧その他	③ ⑦
2. 本校ではくすり教育に関する授業等が実施されましたか？	④ ⑧
①はい ②いいえ	①
	②

1. 平成24年度における出校日数（電話対応を含む。）は何日でしたか。	① ③
①11日以上 ②4～10日 ③1～3日 ④0日（Aの設問へ）	② ④
2. 出校した人（1.において①、②又は③に印をつけた人）にお聞きます。何が目的でしたか。（複数回答可）	① ④
①定期検査 ②臨時検査 ③学校保健委員会に出席	② ⑤
④保健教育に関する講話・講演及び支援 ⑤その他	③

（裏面にも回答欄があります）

表2-2

3. 定期検査のために出校した人（2. において①に印をつけた人）にお聞きします。学校薬剤師は学校保健安全法に定められた定期検査にどのように関与しましたか。 ①すべての検査に関与した ②一部の検査を検査機関（薬剤師会の検査機関を含む。）に委託した ③すべての検査を検査機関（薬剤師会の検査機関を含む。）に委託した	① ② ③
4. 学校保健委員会に出校した人（2. において③に印をつけた人）にお聞きします。学校保健委員会において何をしましたか。（複数回答可） ①定期検査の結果報告 ②次年度の定期検査のスケジュール等の調整 ③定期検査の結果を踏まえた日常点検等への指導・助言 ④その他	① ② ③ ④
5. 保健教育に関する講話・講演及び支援を行った人（2. において④に印をつけた人）にお聞きします。保健教育において何をしましたか。（複数回答可） ①「くすりの教育」に関与した ②喫煙、飲酒、薬物乱用防止教育に参画した ③学校環境衛生に関する講話・講演を行った ④その他	① ② ③ ④

A. 本校におけるプールの水質検査の状況についてお聞きします。

A-1 本校にプール施設はありますか。 ①屋外プールがある ②屋内プールがある ③プールはない(プールを使用していない場合も含む。Bの設問へ)	① ② ③
A-2 原水として使用している水の種類は何ですか。 ①水道水 ②水道法水質基準に適合する井戸水等（河川水・湖沼水等） ③その他	① ② ③
A-3 水質検査はどれくらいの頻度で行いましたか。（基準：使用日30日ごとに1回） ①基準どおりに行った ②実施したが基準を満たさなかった ③行わなかった（Bの設問へ）	① ② ③
A-4 水質について以下の項目の検査を行いましたか。（複数回答可） ①遊離残留塩素 ②pH値 ③大腸菌 ④一般細菌 ⑤有機物等 ⑥濁度 ⑦総トリハロメタン ⑧循環ろ過装置の処理水の濁度	① ⑤ ② ⑥ ③ ⑦ ④ ⑧
A-5 水質基準に適合しましたか。 ①すべての項目が適合した（A-8の設問へ） ②不適合項目があった（A-6の設問へ）	① ②
A-6 不適合項目について（A-5. で②に印をつけた人）指導・助言を行いましたか。 ①行った（A-7の設問へ） ②行わなかった（A-8の設問へ）	① ②
A-7 指導・助言によって改善しましたか。 ①すべて改善した ②一部改善した ③改善しなかった	① ② ③
A-8 水質検査結果の記録を保存していましたか。（基準：5年間保存） ①すべて保存していた ②一部保存していた ③保存していなかった	① ② ③

B. 本校におけるプール施設・設備の検査の状況についてお聞きします。

B-1 循環ろ過装置はありますか。 ①ある ②ない（B-3の設問へ）	① ②
B-2 循環ろ過水の濁度検査用採水栓を設置していますか。 ①設置している ②設置していない	① ②
B-3 施設・設備について以下の項目の検査を行いましたか。（複数回答可） ①プール本体の衛生状況等 ②浄化設備の管理 ③消毒設備の管理 ④行わなかった（Cの設問へ）	① ③ ② ④
B-4 施設・設備の基準に適合しましたか。 ①すべて適合した（B-7の設問へ） ②不適合項目があった（B-5の設問へ）	① ②
B-5 不適合項目について（B-4. で②に印をつけた人）指導助言を行いましたか。 ①行った ②行わなかった（B-7の設問へ）	① ②
B-6 指導・助言によって改善しましたか。 ①すべて改善した ②一部改善した ③改善しなかった	① ② ③
B-7 屋内プールがある学校にお聞きします。以下の項目の検査を行いましたか。（複数回答可） ①空気中の二酸化炭素 ②空気中の塩素ガス ③水平面照度 ④行わなかった	① ③ ② ④
B-8 施設・設備検査結果の記録を保存していましたか。（基準：5年間保存） ①すべて保存していた ②一部保存していた ③保存していなかった	① ② ③

C. 本校におけるプールの日常点検の状況についてお聞きします。

C-1 水質について以下の項目の点検を行いましたか。（複数回答可） ①遊離残留塩素 ②pH値 ③透明度 ④消毒剤の使用状況 ⑤行わなかった	① ④ ② ⑤ ③
C-2 附属施設・設備について以下の項目の点検を行いましたか。（複数回答可） ①排水口の安全確認 ②循環水取入れ口の安全確認 ③柵の安全確認 ④行わなかった	① ③ ② ④
C-3 日常点検結果について以下の項目の記録を保存していましたか。（複数回答可） ①水質 ②附属施設・設備等 ③塩素剤等の在庫管理 ④保存していなかった	① ③ ② ④

ご協力ありがとうございました。

表3 都道府県別有効回答数

	幼稚園	小学校	中学校	全日制高等学校	定時制高等学校	特別支援学校	高等専門学校	合計
	園数	学校数	学校数	学校数	学校数	学校数	学校数	総数
北海道	71	530	274	92	6	28	7	1,008
青森	16	284	145	62	8	17	2	534
岩手	57	351	169	66	8	16	1	668
宮城	22	334	167	58	9	21	6	617
秋田	45	221	120	52	6	12	4	460
山形	7	214	87	46	4	10	0	368
福島	0	473	229	84	7	22	5	820
茨城	107	366	164	74	4	16	1	732
栃木	16	360	149	55	3	15	2	600
群馬	51	297	155	62	6	16	1	588
埼玉	73	791	413	137	26	40	0	1,480
千葉	102	787	357	123	11	30	3	1,413
東京	129	1,154	553	119	47	50	5	2,057
神奈川								
新潟	40	456	212	83	5	27	2	825
富山	26	169	64	33	5	10	0	307
石川	5	174	67	39	5	10	1	301
福井	20	166	66	26	5	9	1	293
山梨	1	125	50	21	3	4	0	204
長野	7	336	171	81	6	18	1	620
岐阜	81	310	161	40	5	11	1	609
静岡	175	488	267	111	12	30	2	1,085
愛知	76	862	360	134	24	28	4	1,488
三重	127	317	127	43	6	11	4	635
滋賀	141	207	95	41	7	13	2	506
京都	63	342	163	60	8	20	2	658
大阪	296	873	398	142	15	31	4	1,759
兵庫	363	737	331	136	27	38	6	1,638
奈良	125	169	83	27	3	9	0	416
和歌山	36	213	110	35	8	11	1	414
鳥取	12	115	54	22	4	8	1	216
島根	61	161	75	27	2	9	0	335
岡山	159	253	94	34	8	8	2	558
広島	18	393	185	52	4	13	1	666
山口	47	289	150	64	8	15	2	575
徳島	88	171	76	27	2	9	1	374
香川	113	142	59	25	3	8	2	352
愛媛	21	160	67	34	3	8	1	294
高知	3	41	19	7	1	6	0	77
福岡	20	733	330	97	21	40	5	1,246
佐賀	0	141	84	34	7	8	1	275
長崎	14	351	175	61	8	16	1	626
熊本	20	342	159	55	8	16	2	602
大分	47	217	95	38	2	14	4	417
宮崎	9	222	121	37	3	12	3	407
鹿児島	145	493	204	74	5	15	2	938
沖縄	3	232	136	61	8	16	0	456
合計	3,058	16,562	7,790	2,831	386	794	96	31,517

注：神奈川県は調査票の提出がなかったため空欄となっています。

Ⅲ. 調査結果

基本データ

基-1-1 職場についてお尋ねします。

全体では、学校薬剤師の本務の職場は、薬局（勤務）42.8%、薬局（開設）41.5%、病院・診療所5.6%、卸1.1%、その他9.0%であった。

設置者別では、公立は全体に占める割合が大きいため全体と同様の傾向を示した。一方、国立では他と比較して病院や診療所の割合が高く12.8%、薬局開設者は低く23.3%であった。また私立では薬局開設者が35.2%、病院や診療所は9.9%であった。

基-1-2 本校ではくすり教育に関する授業等は実施されましたか。

全体では、くすり教育を実施した学校の割合は27.4%、しなかった割合は72.6%であった。

学校種別では、くすり教育の授業等を実施した割合が中学校及び全日制高等学校では約34%、小学校及び定時制高等学校では全体と同様の約28%、特別支援学校は18.5%であった。

基-2-1 平成24年度における出校日数は何日でしたか（電話対応を含む。）。

全体では、学校薬剤師の年間出校日数は4～10日が最も多く59.1%、次いで1～3日が24.0%、11日以上は14.9%であった。出校日数が1回もなかったのは2.0%であった。

設置者別では、公立は全体と同様の傾向を示した。一方、全体と比較すると国立では11日以上の割合が高く17.9%であった。また、私立では11日以上の割合が8.9%と低く、1～3日の

割合が35.4%と高かった。

基-2-2 出校した人にお聞きします。何が目的でしたか（複数回答）。

出校した学校薬剤師全体で見ると、出校目的は定期検査が最も多く94.6%、次いで学校保健委員会への出席が37.0%、保健教育に関する講話・講演及び支援は23.1%、臨時検査の実施は13.2%であった。

設置者別では、公立は全体と同様の傾向を示した。国立では定期検査の割合が高く97.1%であった。一方、私立では定期検査の割合は91.0%、学校保健委員会への出席は12.6%であったが、保健教育に関する講話等は全体と比べて低く16.3%であった。

基-2-3 定期検査のために出校した人（2において①に印をつけた人）にお聞きします。定期検査はどのように実施しましたか。

定期検査のために出校した学校薬剤師全体で見ると、項目によって検査機関等と分担を決めて検査を実施した割合が最も高く64.3%、すべての検査を学校薬剤師が実施したのは33.4%、サンプリング場所等を検査機関等に指示し、検査機関等がサンプリング及び検査を実施したのは2.3%であった。

設置者別では、公立及び国立では全体と同様の傾向を示した。一方、私立では他と比較して学校薬剤師がすべての検査を実施した割合が高く40.4%であった。

基-2-4 学校保健委員会に出校した人（2において③に印をつけた人）にお聞きします。学校保健委員会において何をしましたか（複数回答）。

学校保健委員会のために出校した学校薬剤師全体で見ると、学校保健委員会で行ったこととして定期検査の結果を踏まえた日常点検等への指導・助言が62.8%と最も高く、次いで定期検査の結果報告が48.1%、次年度の定期検査のスケジュール等の調整は8.4%であった。その他の割合も高く44.8%であった。

公立では全体と同様の傾向を示した。また、国立と私立でも同様の傾向を示し、定期検査の結果報告の割合が高かった。

基-2-5 保健教育に関する講話・講演及び支援を行った人（2において④に印をつけた人）にお聞きします。保健教育において何をしましたか（複数回答）。

保健教育に関する講話・講演及び支援を行った学校薬剤師全体で見ると、その内容として喫煙・飲酒・薬物乱用防止教育への参画が最も高く80.6%、「くすりの教育」への関与は41.4%、学校環境衛生に関する講話・講演はその他と同様約10%であった。

学校種別では、喫煙・飲酒・薬物乱用防止教育に参画した割合が特別支援学校及び幼稚園以外は全体と同様で、約80%の高い実施率であった。一方、「くすりの教育」に関与した割合が小学校、中学校、特別支援学校では40%を超えていたが、全日制高等学校は36.6%、定時制高等学校及び幼稚園は30%前後であった。

A. 学校におけるプールの水質検査についてお聞きします。

A-1 担当する学校にプール施設はありますか。

グラフA-1 都道府県別（18ページ参照）

全体では、屋外プールのある学校は78.0%、屋内プールは2.6%で、プールのない学校は19.4%であった。

学校種別では、屋外プールの割合が最も高かったのは小学校で90.6%、次いで中学校の73.7%であった。定時制高等学校ではプールのない割合が高く69.7%、屋外プールは25.8%であった。特別支援学校では屋内プールの割合が高く17.3%であった。

都道府県別では、屋外プールの割合が最も高かったのは宮崎で94.0%、次いで熊本、高知、長野、東京においても90%以上の設置率であった。屋内プールの割合は北海道が最も高く19.9%、次いで山梨の12.0%であった。プールのない割合が最も高かったのは青森の67.3%、次いで北海道の60.9%であった。

A-2 原水として使用している水の種類は何ですか。

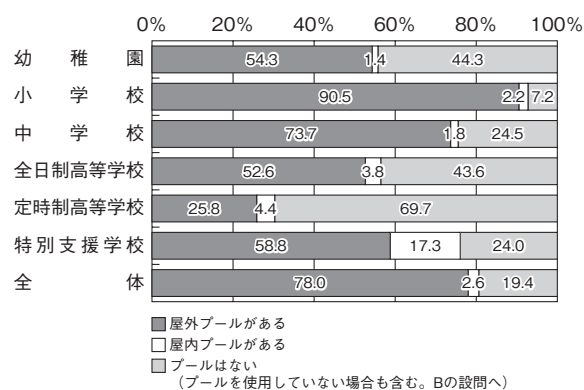
グラフA-2 都道府県別（18ページ参照）

プールのある学校全体で見ると、プールに供給される水の原水が水道水の学校は93.6%、井戸水等（河川水・湖沼水等）は6.1%、その他は0.3%であった。

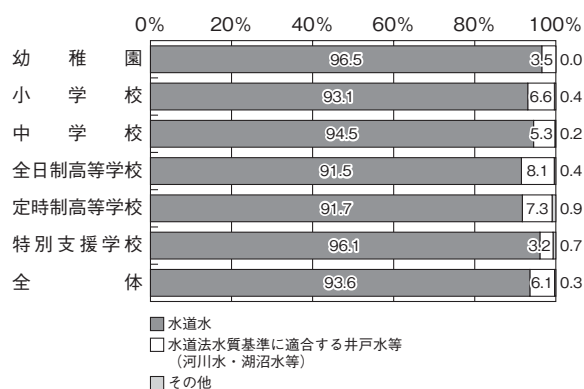
学校種別では大きな差はなかった。

都道府県別では、井戸水等の割合が高かったのは鹿児島、熊本、大分で20%を超えていた。

A-1 本校にプール施設はありますか。



A-2 原水として使用している水の種類は何ですか。



A-3 水質検査を何回行いましたか。(基準：使用日30日ごとに1回)

グラフA-3 都道府県別 (19ページ参照)

プールのある学校全体で見ると、基準どおり水質検査を使用日30日ごとに1回以上行った割合は86.9%、行った割合が1回未満だったのは11.2%であった。1回も行わなかったのは1.9%であった。

学校種別では、基準どおりに行った割合が全体と同様87%程度だったのは小学校、中学校及び特別支援学校で、その他の学校は80%程度であった。幼稚園では水質検査を行わなかった割合が他と比較して高く10.6%であった。

都道府県別では、基準どおりに行わなかった割合が20%を超えたのは三重、和歌山、沖縄、高知、岩手で、1回も行わなかった割合が最も高かったのは福井であった。

A-4 水質について以下の項目の検査を行いましたか (複数回答可)。

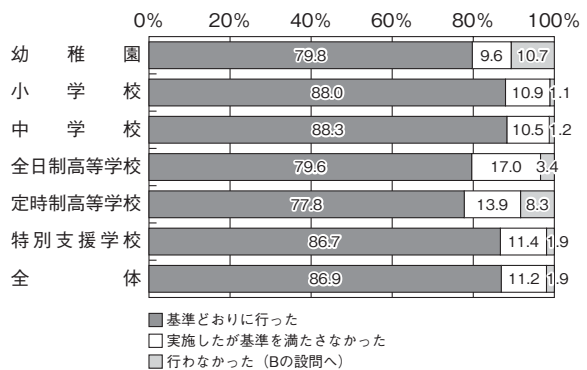
グラフA-4 都道府県別 (25ページ参照)

プールの水質検査を実施した学校全体で見ると、水質検査項目の中で最も実施率が高かったのは遊離残留塩素で99.1%、次いでpH値94.1%、大腸菌89.0%、濁度87.0%、一般細菌84.4%、総トリハロメタン74.8%、有機物等は74.3%であった。循環ろ過装置の処理水の濁度の実施率は低く47.3%であった。

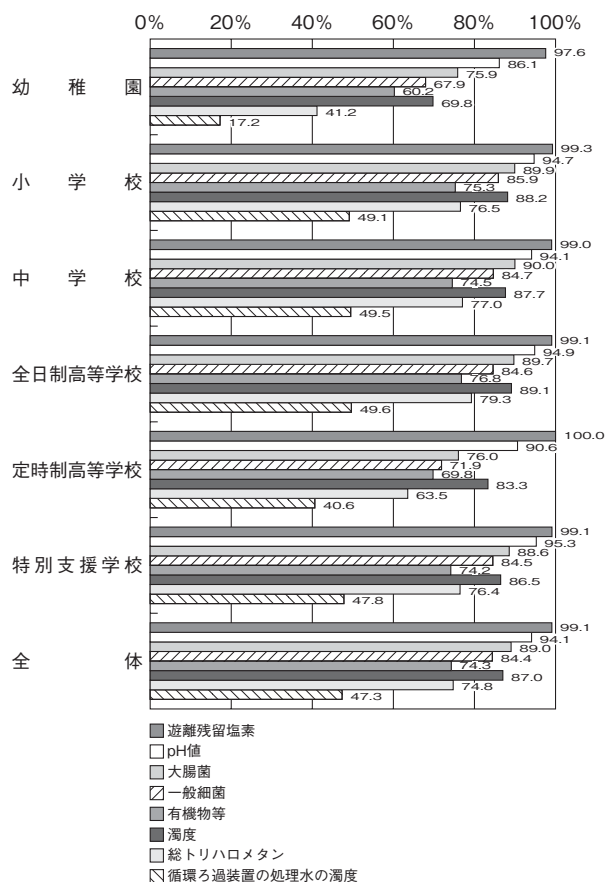
学校種別では、幼稚園以外は全体と同様の結果であった。幼稚園では遊離残留塩素以外は全体と比較して低い実施率で総トリハロメタンは41.2%であった。特に循環ろ過装置の処理水の濁度の実施率は低く17.2%で、循環ろ過装置の設置率の低いことがその原因と考えられる。

都道府県別では、遊離残留塩素の測定を基準どおりに行っていたのは青森、石川、三

A-3 水質検査はどれくらいの頻度で行いましたか。(基準：使用日30日ごとに1回)



A-4 水質について以下の項目の検査を行いましたか。(複数回答可)



重、滋賀、奈良、和歌山、佐賀、宮崎であった。また総トリハロメタンの実施率が90%以上だったのは山梨、三重、熊本、長野であった。実施率が特に低かったのは処理水の濁度で、石川、茨城、愛知、三重では80%以上の学校が検査を行わなかった。全般的に水質検査の実施率が低かったのは高知、福井、秋田であった。

A-5 水質基準に適合しましたか。

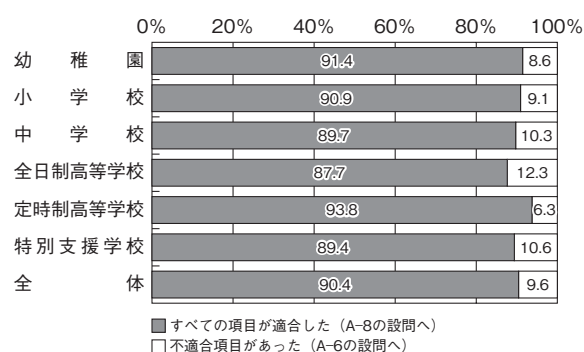
グラフA-5 都道府県別（19ページ参照）

プールの水質検査を実施した学校全体で見ると、すべての項目が基準に適合していたのは90.4%で、不適合項目があったのは9.6%であった。

学校種別では大きな差はなかった。

都道府県別では、不適合項目の割合が高かったのは三重、長野、愛知であった。

A-5 水質基準に適合しましたか。



A-6 不適合項目について（A-5で②に印をつけた人）指導・助言を行いましたか。

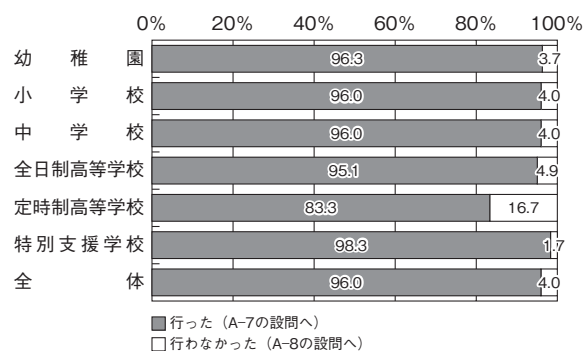
グラフA-6 都道府県別（20ページ参照）

水質検査において不適合項目があった学校全体で見ると、学校薬剤師が不適合項目の指導や助言を行ったのは96.0%、行わなかったのは4.0%であった。

学校種別では大きな差はなかった。

都道府県別では、指導や助言を行わなかった割合が20%を超えていたのは新潟、愛媛であった。

A-6 不適合項目について（A-5で②に印をつけた人）指導・助言を行いましたか。



A-7 指導・助言によって改善しましたか。

グラフA-7 都道府県別（20ページ参照）

学校薬剤師が不適合項目の指導や助言を行った学校全体で見ると、指導や助言によりすべて改善したのは77.9%、一部改善したのは

18.0%、改善しなかったのは4.1%であった。

学校種別では、定時制高等学校以外は全体と同様の結果であった。定時制高等学校では5校のうち3校はすべて改善したが、3校は一部改善しただけであった。

都道府県別では、指導助言によりすべて改善したのは山形、石川、山梨、島根で、改善しなかった割合が高かったのは高知、新潟であった。

A-8 水質検査結果の記録を保存していましたか。(基準：5年間保存)

グラフA-8 都道府県別 (21ページ参照)

プールの水質検査を実施した学校全体で見ると、検査結果をすべて保存していたのは93.5%、一部保存は5.7%、保存していなかったのは0.8%であった。

学校種別では大きな差はなかった。

都道府県別では、一部保存の割合が10%を超えていたのは福井、沖縄、和歌山、福岡であった。

B. 学校におけるプール施設・設備の検査についてお聞きします。

B-1 循環ろ過装置はありますか。

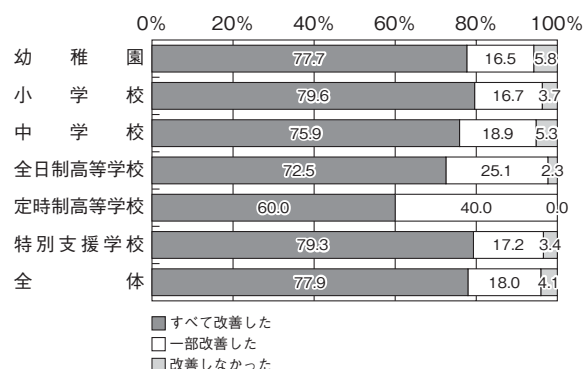
グラフB-1 都道府県別 (21ページ参照)

プールのある学校全体で見ると、循環ろ過装置のある学校は86.8%、ない学校は13.2%であった。

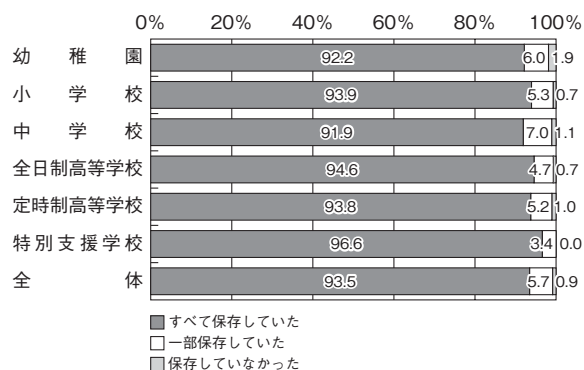
学校種別では、幼稚園以外は70%以上設置され、特に小学校では95.2%と高い設置率であった。幼稚園の設置率は低く24.9%であった。

都道府県別では、設置率が最も高かったのは長野で、愛知、東京、佐賀、熊本も95%を超えていた。設置率が最も低かったのは鹿児島で、

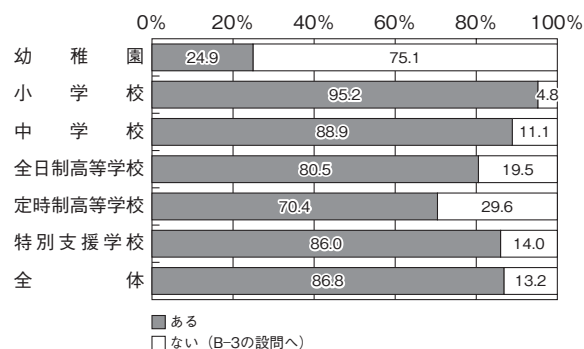
A-7 指導・助言によって改善しましたか。



A-8 水質検査結果の記録を保存していましたか。(基準：5年間保存)



B-1 循環ろ過装置はありますか。



次いで北海道や青森であった。

B-2 循環ろ過水の濁度検査用採水栓を設置していますか。

グラフB-2 都道府県別（22ページ参照）

循環ろ過装置のある学校全体で見ると、循環ろ過装置に濁度検査用採水栓を設置していたのは72.1%であった。

学校種別では、幼稚園以外の設置率は70%以上であったが、幼稚園は58.5%であった。

都道府県別では、設置率が最も高かったのは香川で、石川、三重、長野、茨城、愛知も90%を超えていた。未設置の割合が最も高かったのは高知で、福岡、秋田、宮城も50%程度の設置率であった。

B-3 施設・設備について以下の項目の検査を行いましたか（複数回答）。

グラフB-3 都道府県別（26ページ参照）

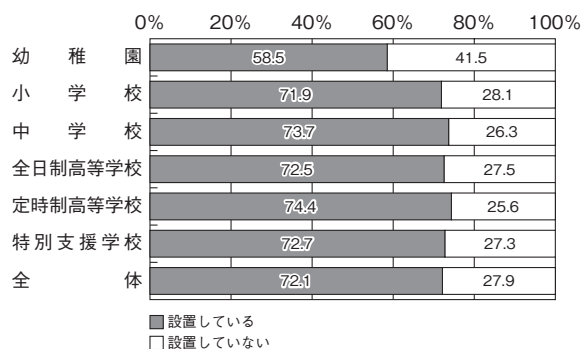
グラフ 学校種別

プールのある学校全体で見ると、施設・設備検査項目の中で最も実施率が高かったのはプール本体の衛生状況等で83.9%、次いで浄化設備の管理の66.3%、消毒設備の管理は65.6%であった。施設・設備の検査を全く行わなかったのは13.0%であった。

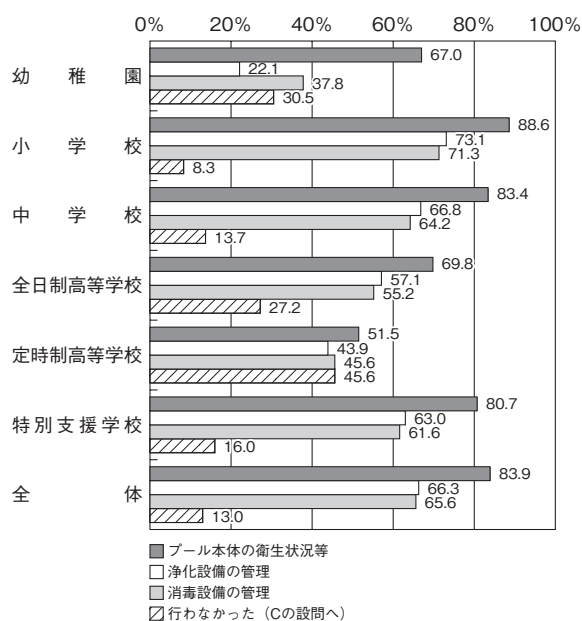
学校種別では、すべての検査項目において小学校の実施率が最も高く、次いで中学校、特別支援学校の順であった。幼稚園では本体の衛生状況は67.0%であったが、消毒設備は37.3%、浄化設備は22.1%と低い実施率であった。

都道府県別では、プール本体の衛生状況等の実施率が最も高かったのは宮崎で、東京、大分、熊本も90%を超えていた。行わなかった割合が高かったのは青森、北海道、岡山であった。

B-2 循環ろ過水の濁度検査用採水栓を設置していますか。



B-3 施設・設備について以下の項目の検査を行いましたか。（複数回答可）



B-4 施設・設備の基準に適合しましたか。

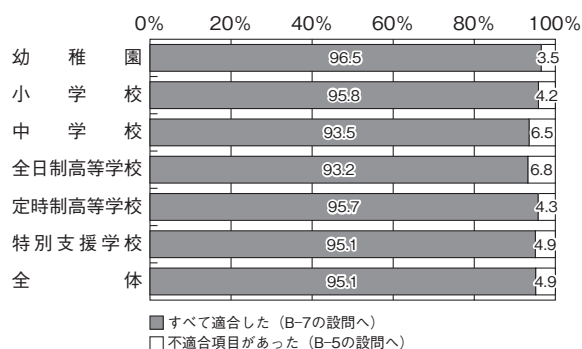
グラフB-4 都道府県別（22ページ参照）

施設・設備検査を実施した学校全体で見ると、すべて基準に適合していたのは95.1%、不適合項目があったのは4.9%であった。

学校種別では大きな差はなかった。

都道府県別では、すべて基準に適合していたのは高知で、北海道、栃木、愛媛、山形でも100%近く適合していた。不適合項目の割合が10%を超えていたのは沖縄と三重であった。

B-4 施設・設備の基準に適合しましたか。



B-5 不適合項目について（B-4で②に印をつけた人）指導助言を行いましたか。

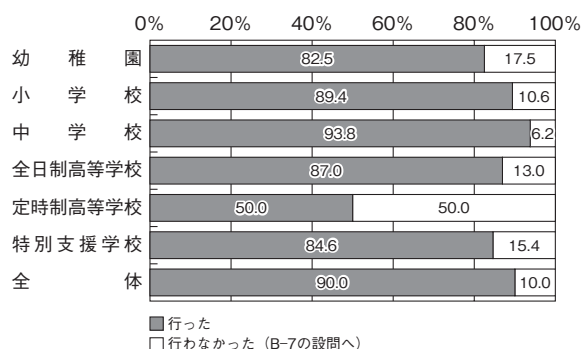
グラフB-5 都道府県別（23ページ参照）

施設・設備検査基準に不適合項目があった学校全体で見ると、学校薬剤師が不適合項目について指導・助言を行ったのは90.0%、行わなかったのは10.0%であった。

学校種別では大きな差はなかった。

都道府県別では、指導・助言を100%確実に行ったのは北海道をはじめ14県であった。一方、山形、秋田、青森では半数程度が指導・助言を行わなかった。

B-5 不適合項目について（B-4で②に印をつけた人）指導助言を行いましたか。



B-6 指導・助言によって改善しましたか。

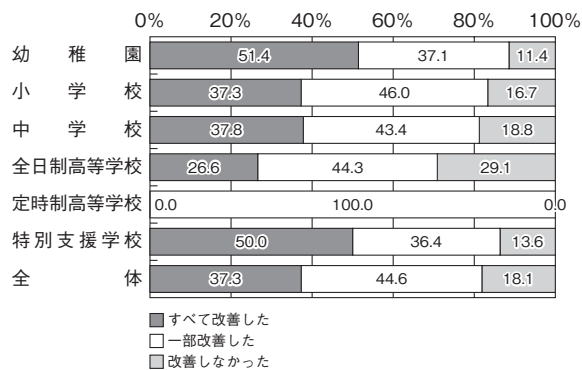
グラフB-6 都道府県別（23ページ参照）

学校薬剤師が不適合項目の指導や助言を行った学校全体で見ると、すべて改善したのは37.3%、一部改善したのは44.6%、改善しなかったのは18.1%であった。

学校種別では、改善しなかった割合が高かったのは定時制高等学校であった。

都道府県別では、青森、沖縄ではほとんど改善したが、山形や和歌山では改善しない割合が高かった。

B-6 指導・助言によって改善しましたか。



B-7 屋内プールの学校にお聞きします。以下の項目の検査を行いましたか（複数回答）。

グラフB-7 都道府県別（27ページ参照）

室内プールのある学校全体で見ると、空気中の二酸化炭素は22.1%、塩素ガスは10.7%、水平面照度の実施率は12.8%であった。一方、すべての項目について検査を行わなかった割合は高く75.0%であった。

学校種別では大きな差はなかった。

都道府県別では、新潟、高知、東京においては実施率が比較的高かった。

B-8 施設・設備検査結果の記録を保存していましたか。（基準：5年間保存）

グラフB-8 都道府県別（24ページ参照）

施設・設備検査を実施した学校全体で見ると、検査結果をすべて保存していたのは87.0%、一部保存は9.1%、保存していなかったのは3.9%であった。

学校種別ではそれほど大きな差はなかった。

都道府県別では、すべて保存していた割合が高かったのは新潟で、石川、三重、滋賀、愛知も93%を超えていた。一方、保存していない割合が10%を超えていたのは高知、鳥取、青森であった。

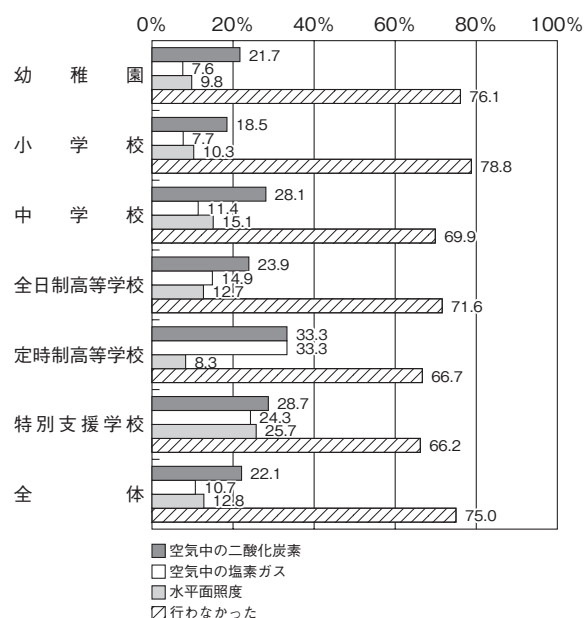
C. 学校におけるプールの日常点検についてお聞きします。

C-1 水質について以下の項目の点検を行いましたか（複数回答）。

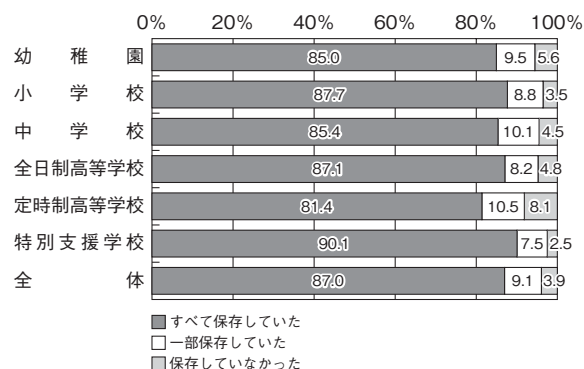
グラフC-1 都道府県別（28ページ参照）

プールのある学校全体で見ると、日常点検における水質の点検項目の中で最も実施率が高かったのは遊離残留塩素で92.4%、次いで消毒

B-7 屋内プールがある学校にお聞きします。以下の項目の検査を行いましたか。（複数回答可）



B-8 施設・設備検査結果の記録を保存していましたか。（基準：5年間保存）



剤の使用状況70.3%、透明度67.5%、pH値は62.5%であった。すべての項目について点検を全く行わなかったのは7.7%であった。

学校種別では、小学校、中学校及び特別支援学校では他と比較すると高い実施率であった。点検しなかった割合が最も高かったのは定時制高等学校の41.3%であった。

都道府県別では、点検した割合が高かったのは高知、熊本、宮崎、東京等で、低かったのは北海道、青森、島根であった。

C-2 附属施設・設備について以下の項目の点検を行いましたか（複数回答）。

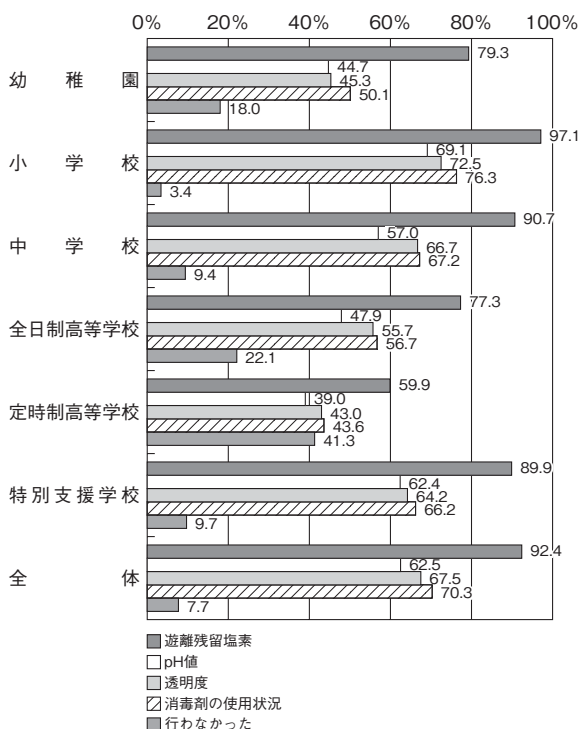
グラフC-2 都道府県別（29ページ参照）

プールのある学校全体で見ると、附属施設・設備の安全確認の点検において実施率が最も高かったのは排水口で87.7%、循環水取入れ口は75.7%、柵は72.6%であった。安全確認を行わなかったのは10.4%であった。

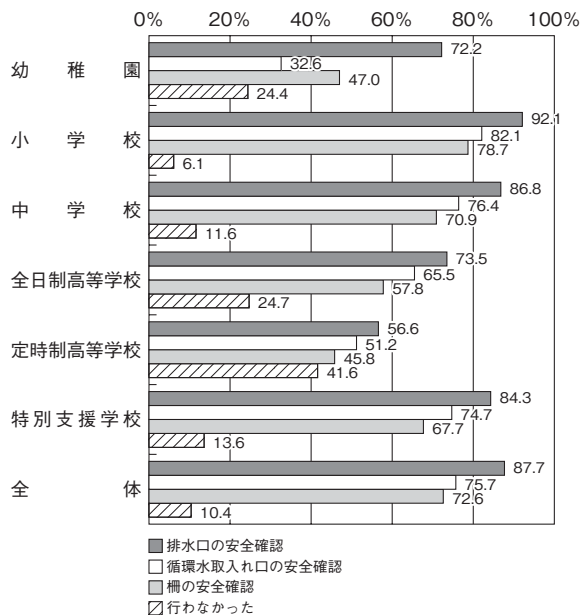
学校種別では、小学校、中学校及び特別支援学校は全体と同様の結果であった。定時制高等学校では行わなかった割合が高く41.6%、幼稚園では循環ろ過装置の設置率が低いため、循環水取入れ口の安全確認の実施率が低かった。

都道府県別では、点検した割合が高かったのは大分、熊本、鳥取、東京、宮崎で、低かったのは北海道、青森、三重、島根であった。

C-1 水質について以下の項目の点検を行いましたか。（複数回答可）



C-2 附属施設・設備について以下の項目の点検を行いましたか。（複数回答可）



C-3 日常点検結果について以下の項目の記録を保存していましたか（複数回答）。

グラフC-3 都道府県別（30ページ参照）

日常点検を実施した学校全体で見ると、記録の保存は水質が特に高く91.1%、塩素剤等の管理は58.3%、附属施設等は57.3%であった。何も保存していなかったのは7.9%であった。

学校種別では、小学校、中学校、特別支援学校は全体と同様の結果であったが、定時制高等学校では保存していない割合が高く41.6%であった。

都道府県別では、項目により差はあるものの、北海道や青森の保存状態があまりよくなかった。

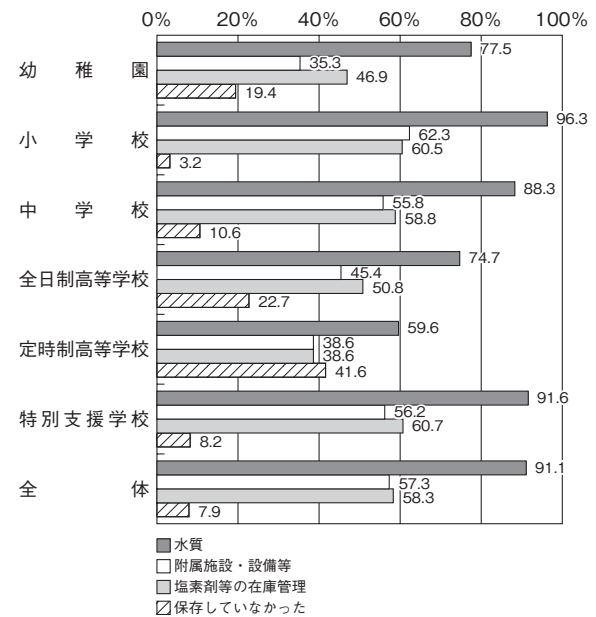
IV. まとめ

本調査の対象は、全国の大学以外のすべての学校としているが、校種別に見ると幼稚園で極めて回答率が低く、次いで高等学校で低くなっている。設置者別に見ると私立の学校の回答率が極めて低く、幼稚園の62.7%、高等学校の26.3%が私立学校であることから、調査票が行き渡っていない可能性が示唆され、今後は私立学校への働きかけが大切となる。

最初に、基本データとして今回から継続実施することになった学校薬剤師活動の調査結果を以下に示す。

- (1) 学校薬剤師の本務の職場は薬局であり、勤務者と開設者のいずれも4割を超え、合わせて85%であった。病院や診療所の勤務者は5%を少し超えた程度であり、国立の学校における割合が高いことから自らが勤務する大学の附属学校の担当である可能性が高い。
- (2) 平成20年及び平成21年度告示の学習指導要領に基づき、学校における医薬品に関する教育については、保健体育科の授業において中

C-3 日常点検結果について以下の項目の記録を保存していましたか。（複数回答可）



学校では平成24年度から新たに始まり、高等学校でもその内容が充実され、本年度から年次進行で実施されることになっている。しかし、今回の結果から、授業等が行われたのは中学校、高等学校ともに3割程度に過ぎず、学校における実施状況ではなく、学校薬剤師が関与した場合のみが回答された可能性がある。一方、生涯を通じて医薬品を適正に使用することの大切さを国民すべてに理解してもらうため、完全実施に向けての取組が必要である。

- (3) 平成24年度における学校薬剤師の担当校への出校日数は約6割が4～10日であった。出校の目的は、定期検査の実施が最も高く95%、臨時検査は13%であった。学校保健委員会への出席は37%に過ぎなかった。学校職員等との意思疎通を図るいい機会なので、年1回は出席し交流を深めていただきたい。
- (4) プールの定期検査の実施に当たり検査機関と分担して行ったのは65%であった。総トリ

ハロメタンのように、高価で高度な機器を使用する検査法のため学校薬剤師単独では対応できないが、せめてサンプリングには立ち会い現場の状況の把握に努めていただきたい。

- (5) 保健教育に関する支援等を行ったのは13%であった。その内容として、薬物乱用防止教育に参画した割合はおよそ8割と高かったが、くすり教育に関与したのは中学校がおよそ4割、高等学校はそれ以下であった。薬剤師は医薬品のプロであることを認識し、今後はもっと積極的に授業の支援を行う等くすり教育に関わっていただきたい。(図1参照)

次に、今回の調査、平成24年度における水泳プールの定期検査及び日常点検状況の調査結果を以下に示す。

- (1) 水質の定期検査については、項目により実施率に差が見られた。

遊離残留塩素の検査はほとんどすべての学校で行われていたが、総トリハロメタンや有機物等の実施率はおおよそ7割で、他の項目と比べると少し低い実施率であった。総トリハロメタンの検査を専門の検査機関に委託する場合は費用が必要なため、教育委員会等の設置者に対して予算措置等の働きかけを行っていただきたい。

プール水の濁度は9割近い実施率であったが、循環ろ過装置の処理水の濁度は水質検査項目の中で最も実施率が低く50%を下回った。検査用採水栓未設置の学校もかなり見受けられるので、次期シーズンには確実に検査を行えるよう、学校への指導が必要である。

(図2参照)

- (2) 施設・設備の定期検査のうち、プール本体の衛生状態の検査は8割以上行われていたが、浄化設備や消毒設備の3割は検査が行われておらず、1割の学校では検査を全く行わなかった。設備等に欠陥がある場合は直ちに

改善措置が必要なため、検査の確実な実施が求められる。(図3参照)

- (3) 屋内プール設置の学校は3%に満たなかったが、特別支援学校の割合が特に高かった。

検査項目のうち二酸化炭素の実施率は2割を超えた程度、塩素ガスと照度は約1割であった。基準不適合の場合、二酸化炭素は換気の強化が必要であり、塩素ガスは塩素剤の管理方法の点検が求められるので、検査は基準に従い確実にを行う必要がある。(図4参照)

- (4) プール授業日に学校が行う日常点検項目のうち、遊離残留塩素測定や排水口の安全確認は比較的よく行われていたが、pH値の実施率は約6割であった。塩素化イソシアヌル酸の継続使用はプール水の酸性化を起こす可能性もあるので、入泳前に確実に実施するよう指導が必要である。(図5及び図6参照)

- (5) 都道府県別集計結果から地域によって実施率に差が見られた。実施率が低かった地域では、学校保健安全法(昭和33年法律第56号)の第5条を再確認し、文部科学省発行「[改訂版]学校環境衛生管理マニュアル(文部科学省、平成22年3月)」等を再読し、学校環境衛生基準に基づく学校環境衛生活動への理解を深めていただきたい。

最後に、水泳プールは水を介して児童生徒等の健康に直接影響を与えるため、適切な管理のもとで使用されなければならない。水質が不良のときは原因を究明し直ちに改善を行う、また、ろ剤に沈殿物等が付着すると循環ろ過装置の処理水の濁度が高くなるため、防止のための定期的な逆洗等が必要となる。

このようにプールは日々の管理が非常に重要であることを踏まえ、水質や施設等の維持管理が適切かどうかを確認するため「学校環境衛生基準」に基づき学校においては日々の点検を確実にを行うこと、また学校薬剤師は定期検査を確実にを行うことの重要性を再認識していただきたい。

(参考1) 保健教育の支援等の学校種別実施率

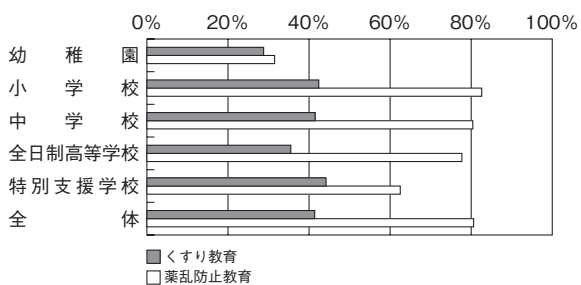


図1 保健教育に関する支援等

(参考2) 定期検査及び日常点検の実施率

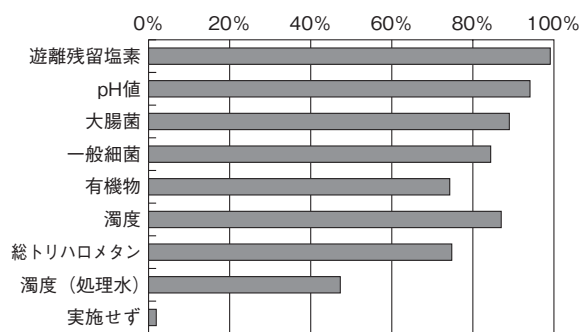


図2 水質の定期検査

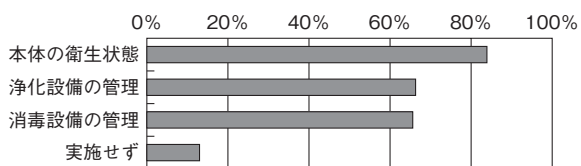


図3 施設・設備の定期検査

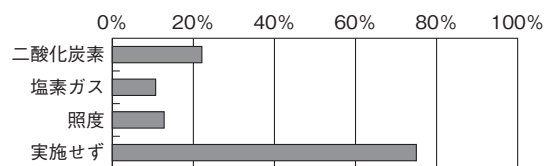


図4 屋内プールの定期検査

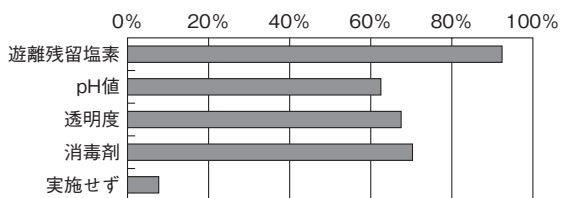


図5 水質の日常点検

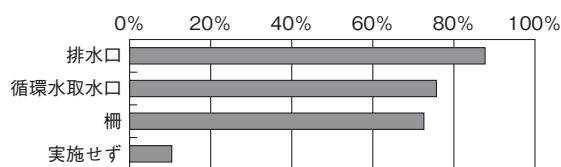
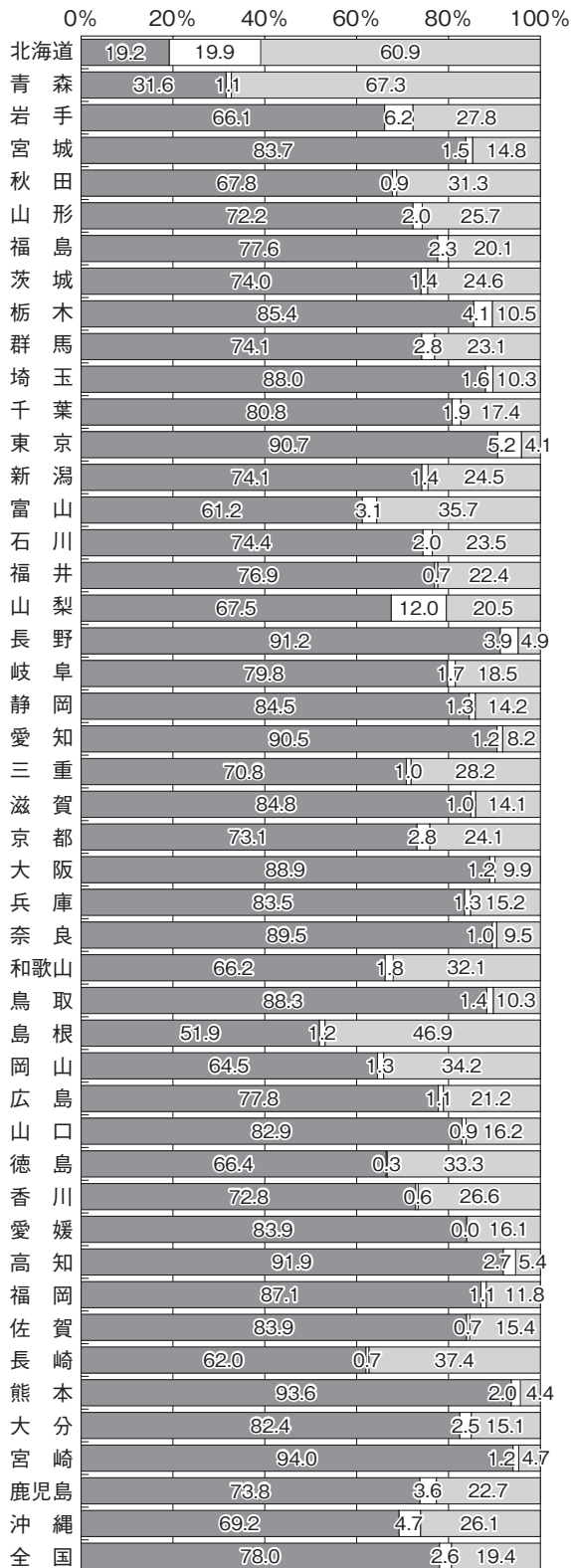


図6 施設・設備の日常点検

V. おわりに

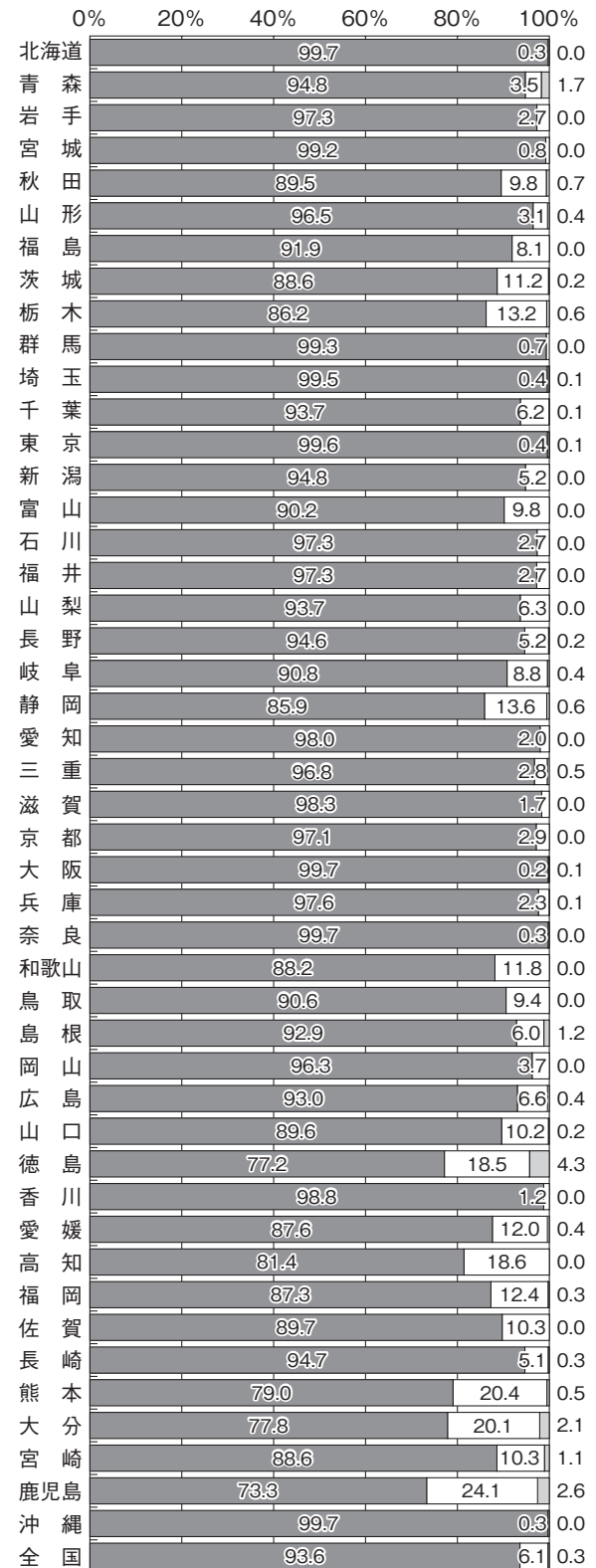
本調査を実施するに当たり、ご指導とご協力を賜りました文部科学省スポーツ・青少年局学校健康教育課、各都道府県市町村の教育委員会等に深く感謝いたします。

A-1 本校にプール施設はありますか。



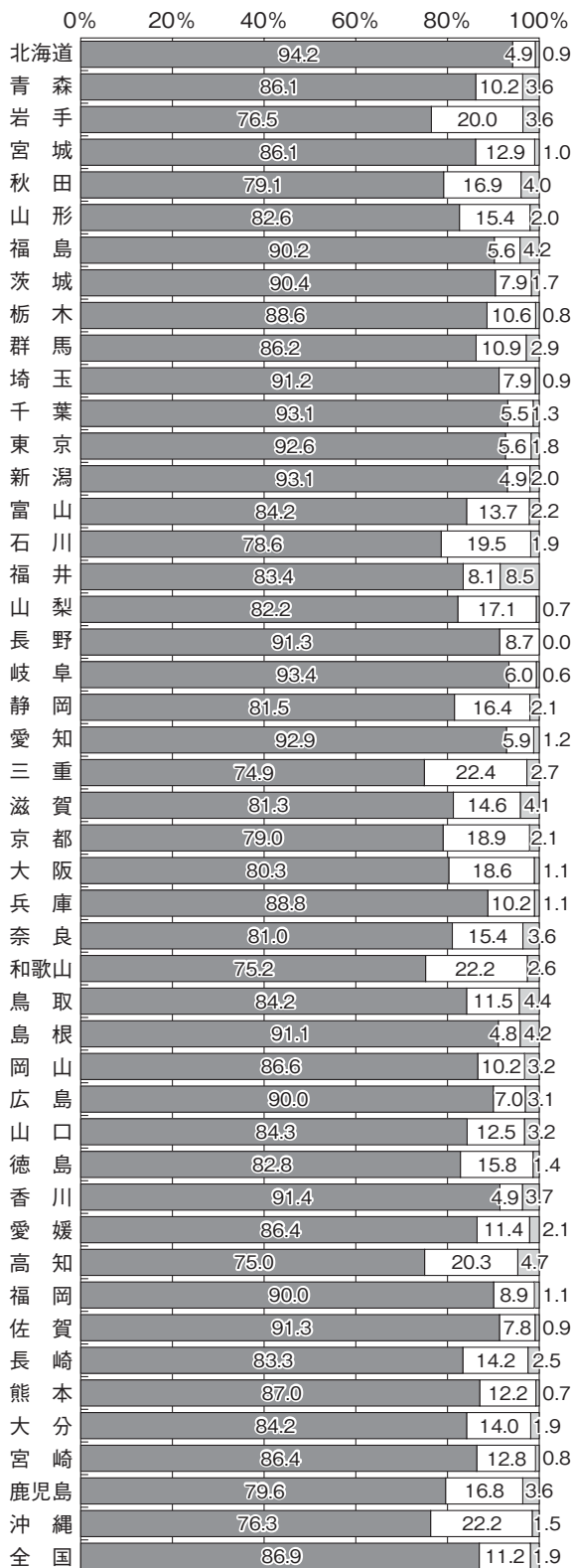
- 屋外プールがある
- 屋内プールがある
- プールはない
(プールを使用していない場合も含む。Bの設問へ)

A-2 原水として使用している水の種類は何ですか。



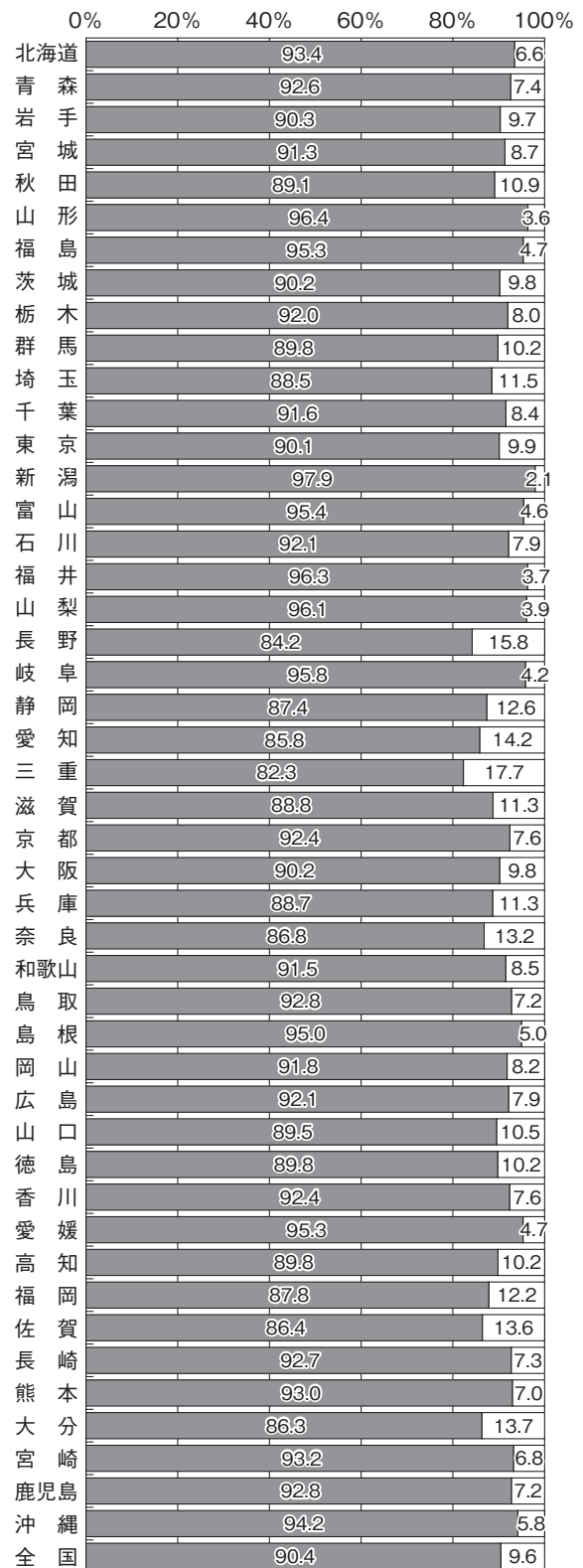
- 水道水
- 水道法水質基準に適合する井戸水等 (河川水・湖沼水等)
- その他

A-3 水質検査はどれくらいの頻度で行いましたか。(基準：使用日30日ごとに1回)



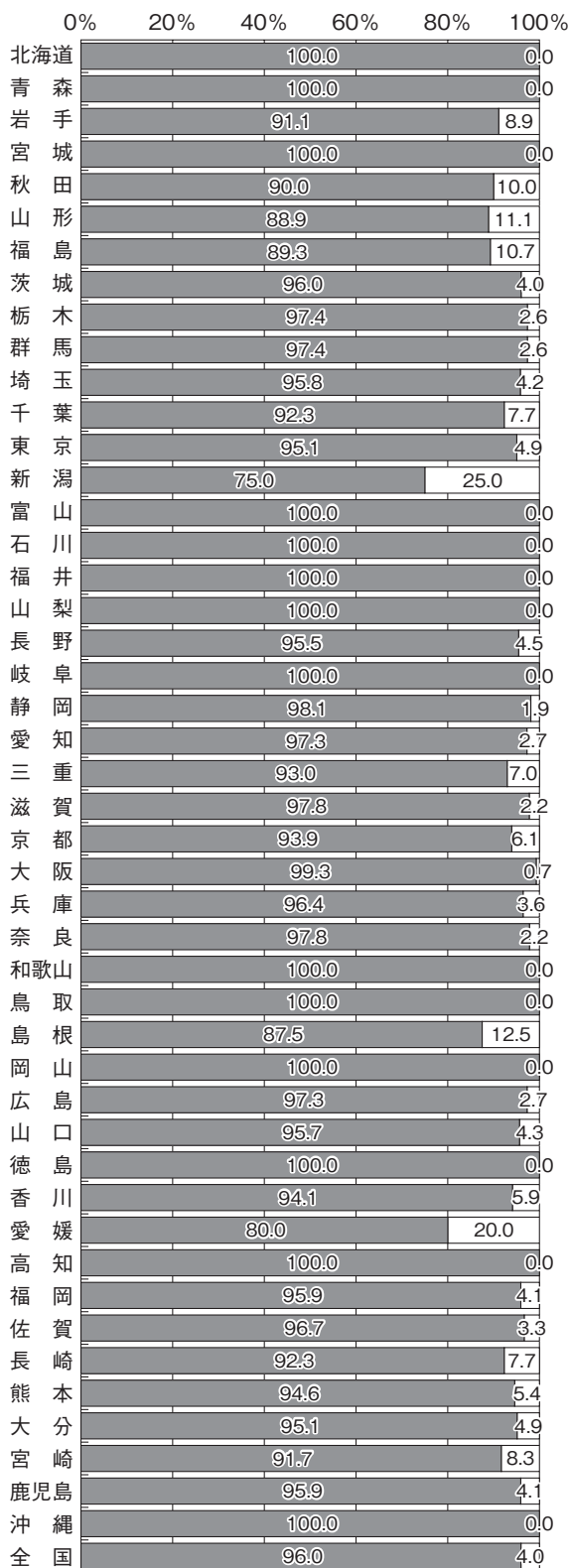
■ 基準どおりに行った
□ 実施したが基準を満たさなかった
□ 行わなかった (Bの設問へ)

A-5 水質基準に適合しましたか。



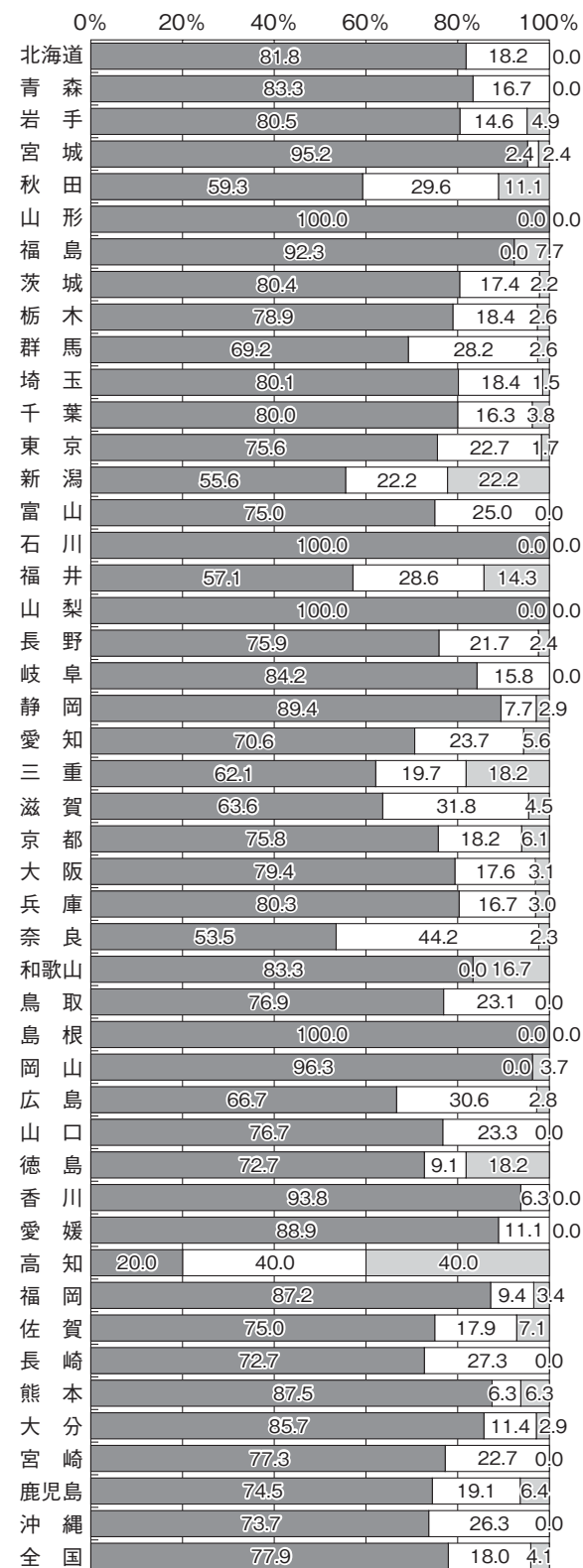
■ すべての項目が適合した (A-8の設問へ)
□ 不適合項目があった (A-6の設問へ)

A-6 不適合項目について（A-5で②に印をつけた人）指導・助言を行いましたか。



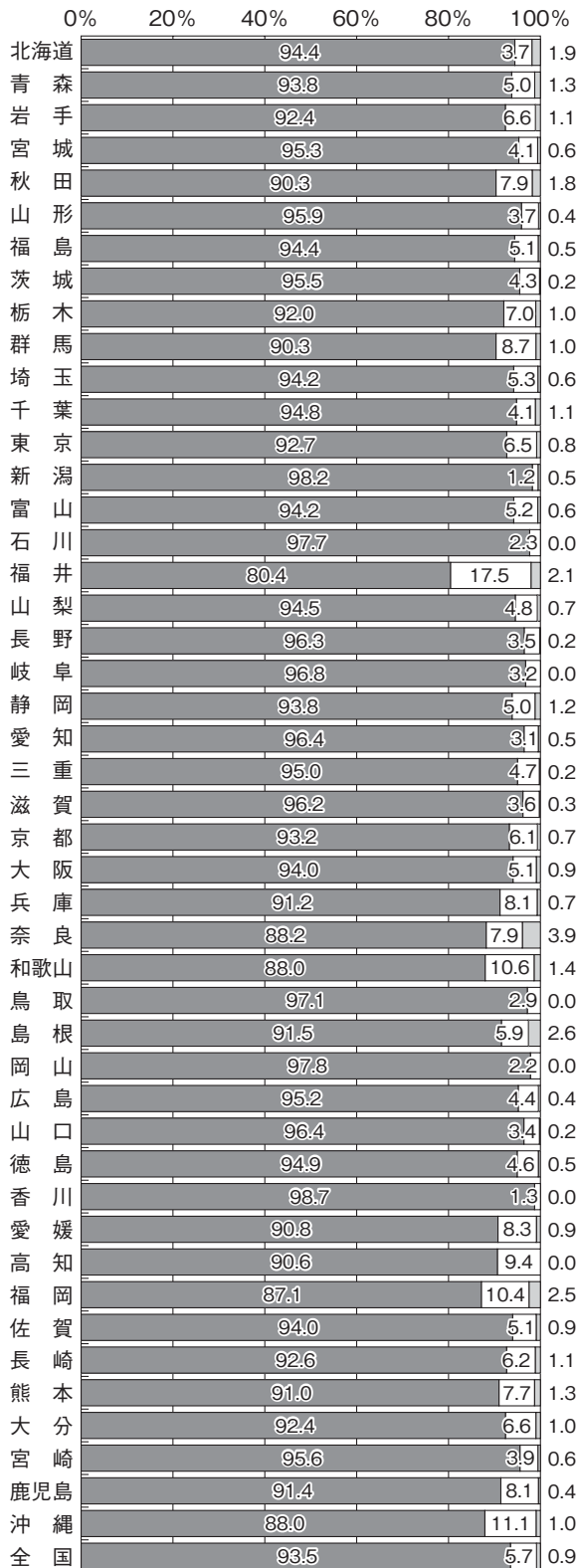
■ 行った (A-7の設問へ)
□ 行かなかった (A-8の設問へ)

A-7 指導・助言によって改善しましたか。



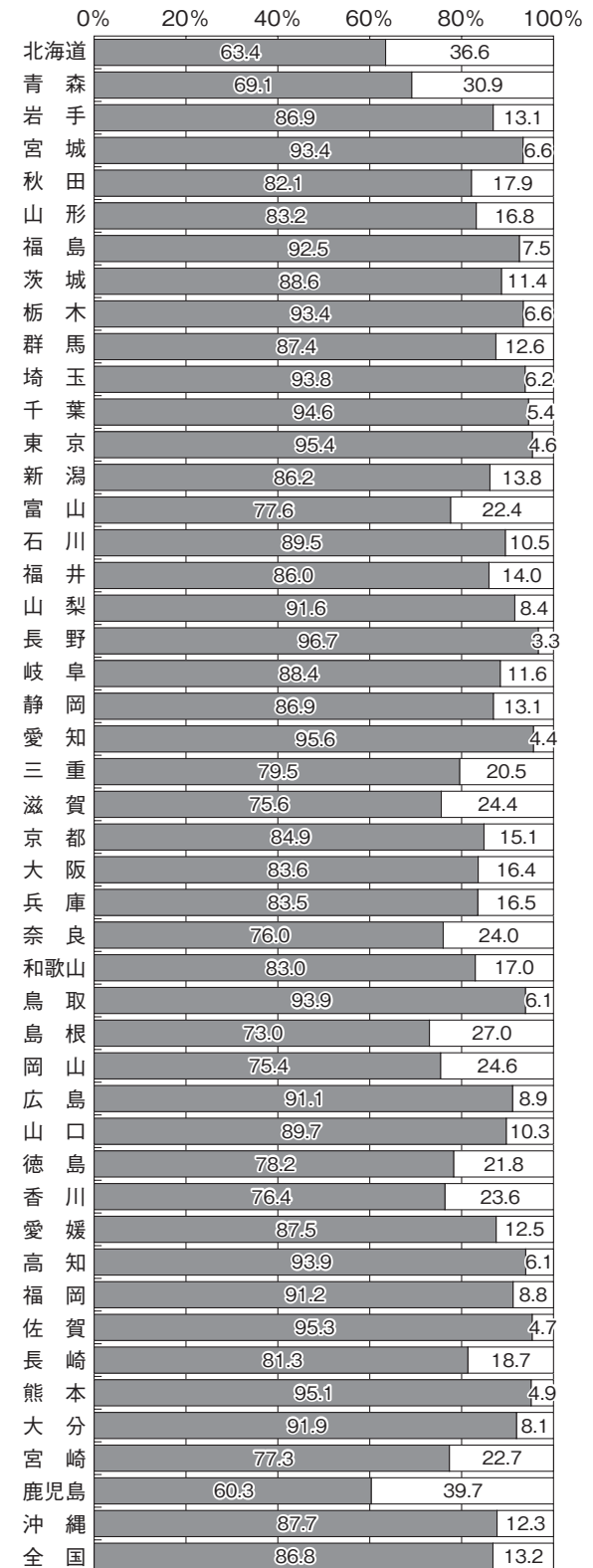
■ すべて改善した
□ 一部改善した
■ 改善しなかった

A-8 水質検査結果の記録を保存していましたか。(基準：5年間保存)



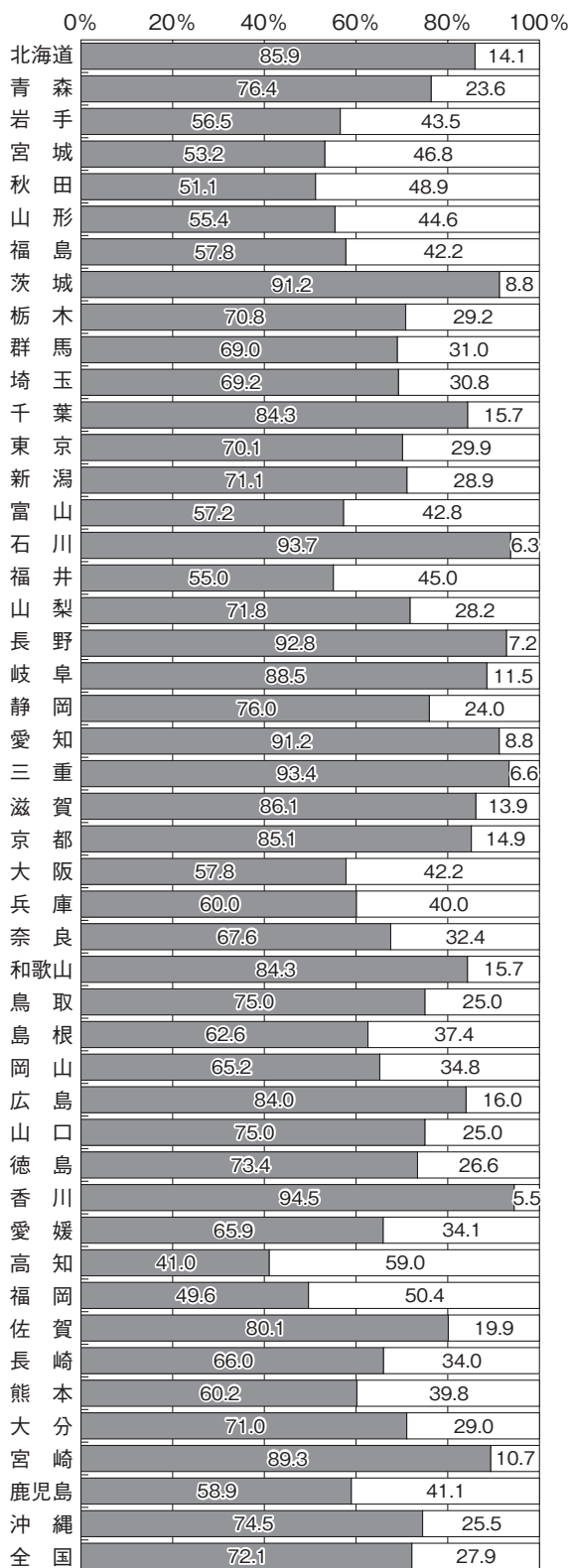
- すべて保存していた
- 一部保存していた
- 保存していなかった

B-1 循環ろ過装置はありますか。



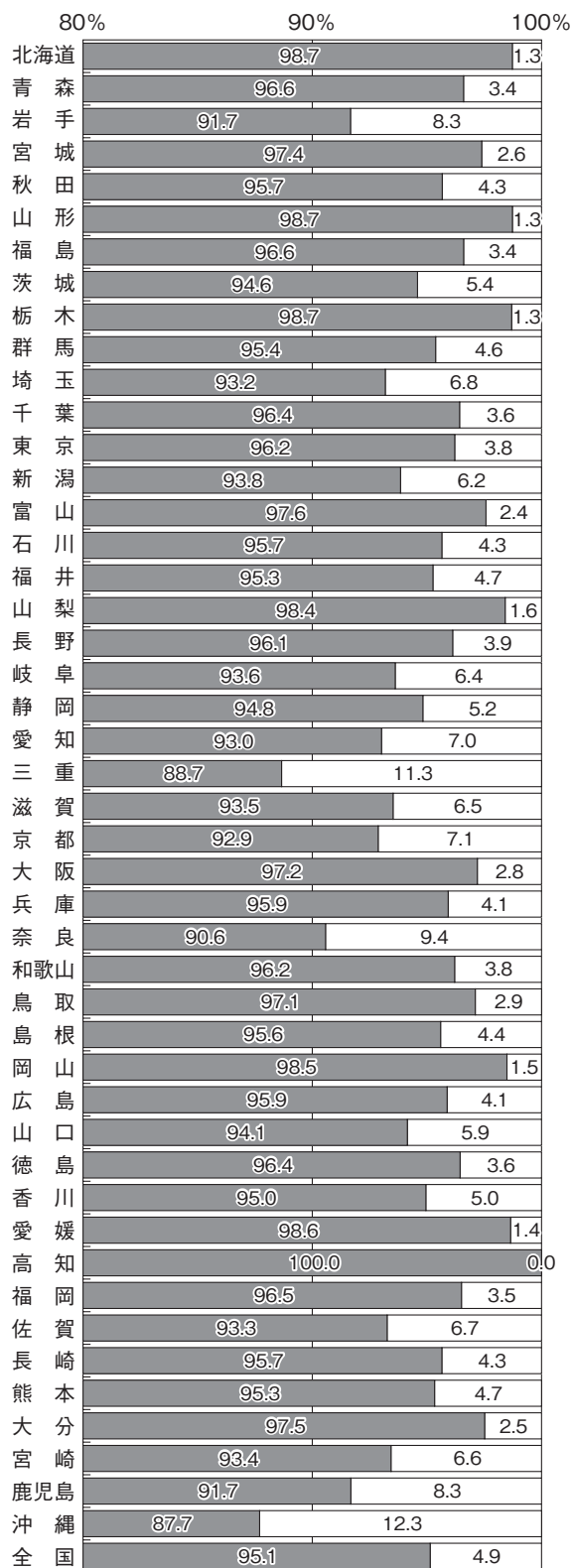
- ある
- ない (B-3の設問へ)

B-2 循環ろ過水の濁度検査用採水栓を設置していますか。



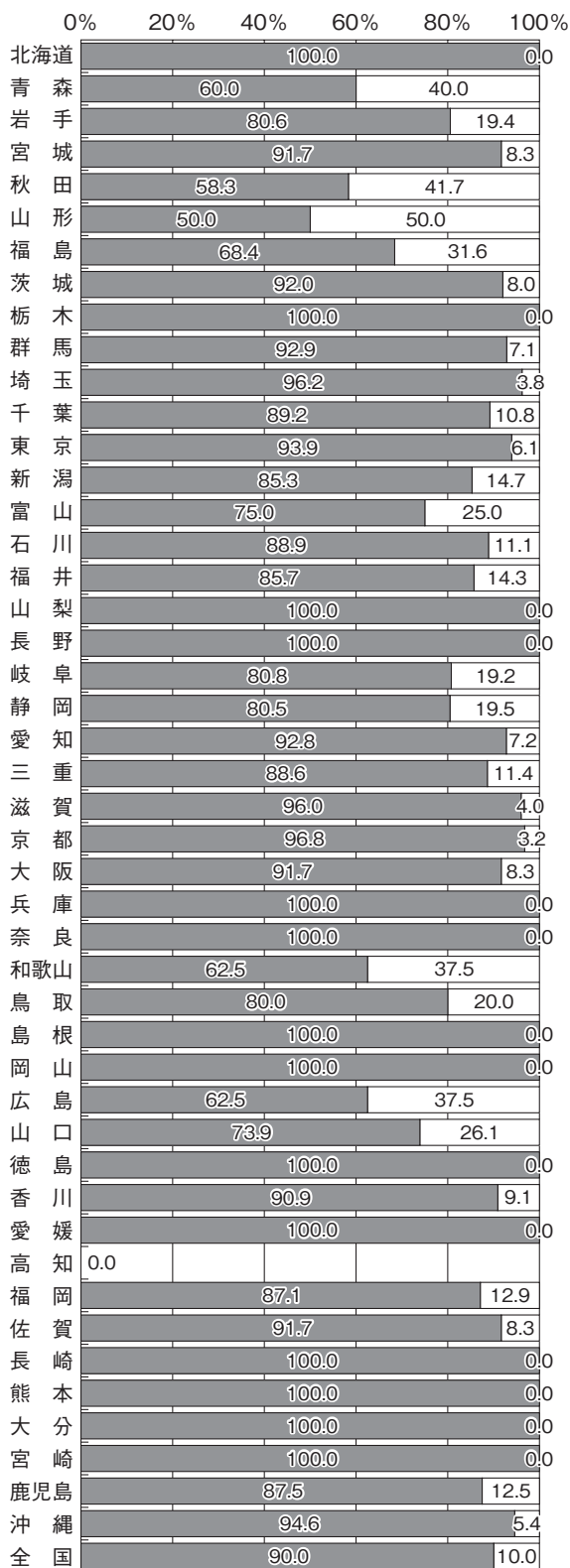
■ 設置している
□ 設置していない

B-4 施設・設備の基準に適合しましたか。



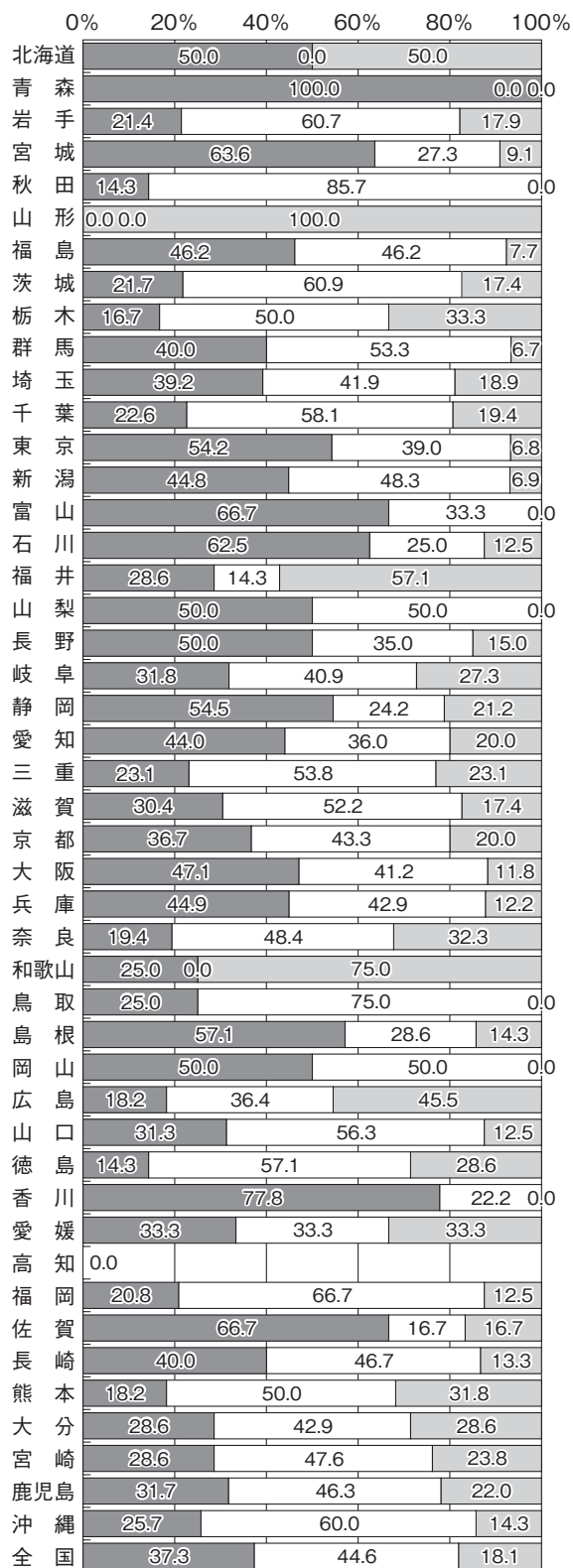
■ すべて適合した (B-7の設問へ)
□ 不適合項目があった (B-5の設問へ)

B-5 不適合項目について（B-4で②に印をつけた人）指導助言を行いましたか。



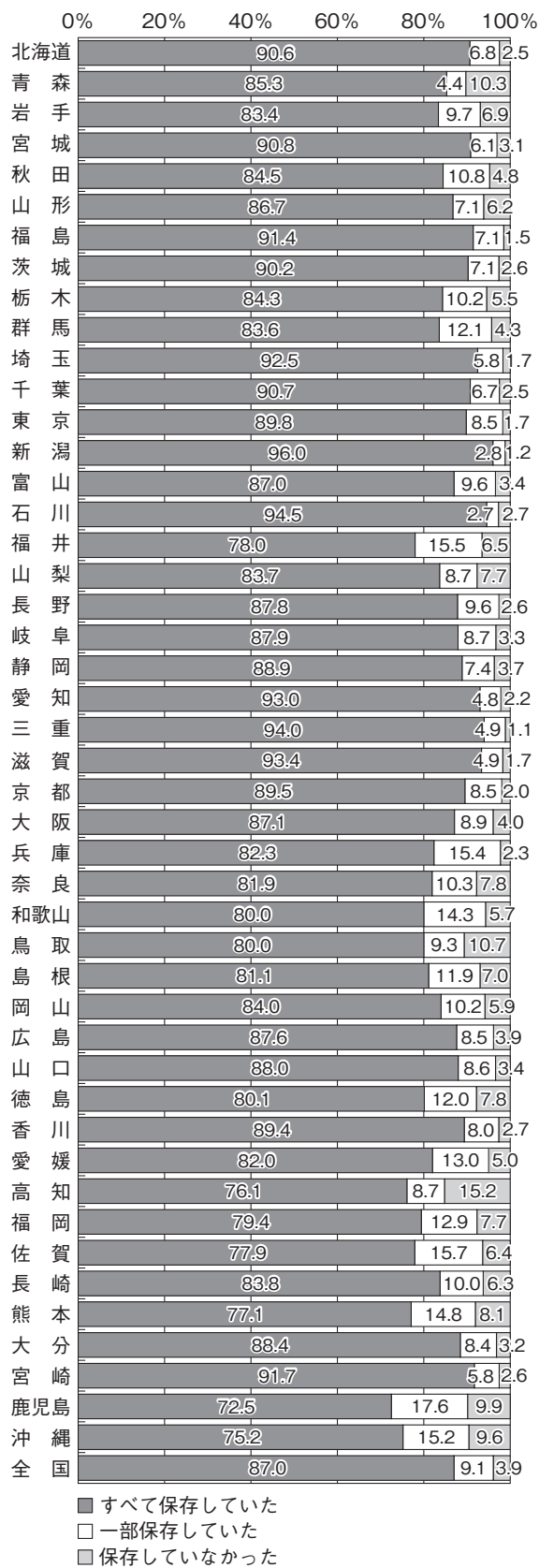
■ 行った
□ 行かなかった (B-7の設問へ)

B-6 指導・助言によって改善しましたか。



■ すべて改善した
□ 一部改善した
■ 改善しなかった

B-8 施設・設備検査結果の記録を保存していましたか。
(基準：5年間保存)



A-4 水質について以下の項目の検査を行いましたか。(複数回答可)

	1. 遊離残留塩素	2. pH値	3. 大腸菌	4. 一般細菌	5. 有機物等	6. 濁度	7. 総トリハロメタン	8. 循環ろ過装置の処理水の濁度
01 北海道	98.2%	84.9%	83.4%	81.7%	68.6%	80.2%	59.5%	64.8%
02 青森	100.0%	97.6%	91.5%	89.0%	84.8%	92.7%	83.5%	72.0%
03 岩手	99.6%	93.8%	85.3%	80.6%	70.3%	88.4%	75.2%	41.2%
04 宮城	99.8%	94.3%	95.9%	93.7%	86.3%	90.4%	88.3%	28.0%
05 秋田	95.9%	89.3%	58.6%	56.9%	40.0%	70.0%	32.8%	18.3%
06 山形	99.6%	91.5%	95.1%	93.1%	85.0%	92.7%	83.8%	20.2%
07 福島	99.5%	94.1%	92.0%	89.7%	74.8%	90.0%	67.5%	33.8%
08 茨城	99.6%	91.4%	95.1%	93.0%	86.2%	93.8%	88.5%	88.5%
09 栃木	99.6%	92.0%	93.7%	91.6%	87.5%	91.6%	87.9%	43.2%
10 群馬	99.0%	92.9%	90.8%	87.6%	80.0%	87.1%	83.7%	43.6%
11 埼玉	99.3%	94.8%	92.2%	86.8%	72.3%	88.3%	80.7%	37.3%
12 千葉	98.5%	94.5%	91.6%	90.2%	83.2%	91.8%	83.5%	68.5%
13 東京	99.6%	92.8%	84.3%	78.6%	71.2%	84.3%	66.1%	45.0%
14 神奈川								
15 新潟	98.6%	89.0%	84.5%	83.0%	62.8%	83.1%	64.0%	43.4%
16 富山	97.2%	96.6%	89.4%	86.6%	65.4%	87.7%	60.3%	22.9%
17 石川	100.0%	97.7%	97.7%	96.3%	95.4%	96.8%	89.5%	90.9%
18 福井	98.4%	87.6%	67.9%	65.3%	58.0%	74.1%	47.2%	16.1%
19 山梨	99.4%	92.2%	95.5%	94.8%	89.0%	89.0%	93.5%	33.1%
20 長野	99.5%	98.1%	96.9%	97.0%	87.6%	95.8%	90.9%	75.9%
21 岐阜	99.4%	92.8%	93.0%	92.1%	84.7%	90.9%	83.9%	74.5%
22 静岡	99.5%	91.7%	91.6%	88.4%	77.5%	88.2%	81.2%	66.7%
23 愛知	99.3%	98.0%	87.2%	86.1%	81.9%	88.2%	85.4%	83.0%
24 三重	100.0%	99.3%	98.3%	97.8%	78.2%	85.0%	92.5%	81.4%
25 滋賀	100.0%	96.3%	95.8%	94.0%	82.8%	92.5%	79.3%	68.1%
26 京都	99.4%	93.3%	93.7%	93.1%	77.4%	92.1%	85.4%	70.5%
27 大阪	99.5%	96.6%	85.6%	66.8%	60.7%	83.6%	78.8%	18.4%
28 兵庫	98.9%	91.7%	88.7%	68.8%	62.8%	84.2%	40.8%	14.7%
29 奈良	100.0%	97.2%	87.5%	84.1%	79.9%	85.0%	63.7%	48.4%
30 和歌山	100.0%	90.2%	88.1%	81.1%	56.6%	73.0%	79.9%	67.2%
31 鳥取	98.9%	97.2%	91.2%	91.2%	77.9%	92.8%	82.3%	59.7%
32 島根	98.8%	88.9%	82.1%	80.9%	78.4%	85.2%	78.4%	46.9%
33 岡山	99.7%	95.7%	92.4%	92.1%	81.2%	89.7%	83.6%	48.9%
34 広島	99.2%	92.7%	83.3%	81.6%	72.0%	83.1%	56.9%	47.1%
35 山口	99.3%	95.8%	93.4%	84.6%	83.5%	88.1%	61.5%	61.5%
36 徳島	99.6%	94.7%	94.3%	93.0%	70.9%	90.7%	85.0%	61.2%
37 香川	98.7%	91.2%	93.3%	93.7%	84.1%	87.0%	85.4%	78.2%
38 愛媛	96.2%	91.0%	84.6%	85.0%	58.1%	80.8%	71.4%	40.2%
39 高知	98.5%	79.4%	70.6%	69.1%	35.3%	57.4%	29.4%	22.1%
40 福岡	99.7%	95.8%	80.2%	77.0%	57.8%	81.9%	69.6%	15.3%
41 佐賀	100.0%	98.7%	95.6%	82.3%	77.4%	89.4%	77.4%	65.5%
42 長崎	97.2%	95.0%	88.9%	85.3%	68.9%	87.8%	50.0%	33.6%
43 熊本	99.5%	92.8%	95.1%	93.0%	74.6%	89.2%	92.1%	27.9%
44 大分	99.1%	94.0%	76.9%	76.9%	74.7%	77.2%	70.9%	48.1%
45 宮崎	100.0%	98.9%	94.0%	93.1%	79.4%	86.0%	88.2%	62.1%
46 鹿児島	94.0%	95.3%	92.5%	91.9%	85.7%	91.6%	77.3%	36.4%
47 沖縄	99.4%	96.0%	91.4%	90.5%	85.2%	89.8%	80.6%	29.8%
合計	99.1%	94.1%	89.0%	84.4%	74.3%	87.0%	74.8%	47.3%

B-3 施設・設備について以下の項目の検査を行いましたか。(複数回答可)

	1.プール本体の衛生状況等	2.浄化設備の管理	3.消毒設備の管理	4.行わなかった
01 北海道	60.4%	50.4%	45.9%	37.8%
02 青森	56.0%	51.2%	49.6%	39.6%
03 岩手	77.3%	67.4%	62.2%	17.8%
04 宮城	83.6%	66.9%	64.1%	12.7%
05 秋田	75.3%	64.9%	64.0%	20.2%
06 山形	82.5%	69.1%	71.2%	15.4%
07 福島	77.2%	72.5%	65.8%	17.4%
08 茨城	81.9%	68.4%	63.6%	16.9%
09 栃木	86.6%	72.0%	66.9%	11.0%
10 群馬	84.5%	70.9%	69.1%	13.2%
11 埼玉	89.2%	76.2%	69.7%	7.8%
12 千葉	88.5%	75.2%	71.6%	8.3%
13 東京	92.2%	72.1%	74.9%	4.8%
14 神奈川				
15 新潟	86.6%	74.1%	72.7%	12.7%
16 富山	76.4%	62.3%	65.1%	21.7%
17 石川	86.2%	71.7%	70.9%	11.7%
18 福井	77.6%	61.2%	63.8%	17.7%
19 山梨	82.8%	49.7%	54.1%	15.9%
20 長野	88.2%	69.0%	65.3%	8.8%
21 岐阜	86.9%	74.2%	71.7%	10.0%
22 静岡	82.3%	68.2%	70.1%	12.3%
23 愛知	87.4%	69.7%	66.6%	11.7%
24 三重	84.6%	64.3%	63.2%	14.3%
25 滋賀	87.2%	62.4%	64.2%	10.3%
26 京都	86.8%	68.8%	70.7%	12.3%
27 大阪	87.7%	55.9%	59.9%	9.3%
28 兵庫	85.5%	61.1%	63.4%	10.0%
29 奈良	87.5%	59.0%	66.8%	8.7%
30 和歌山	76.7%	61.9%	57.0%	18.5%
31 鳥取	85.4%	74.5%	69.3%	8.9%
32 島根	71.6%	64.0%	58.8%	23.2%
33 岡山	65.5%	54.5%	47.0%	29.3%
34 広島	81.2%	72.6%	67.9%	14.4%
35 山口	85.0%	65.5%	63.8%	12.9%
36 徳島	72.8%	54.1%	55.2%	22.0%
37 香川	76.0%	58.1%	61.6%	22.2%
38 愛媛	79.6%	78.9%	69.1%	14.0%
39 高知	87.5%	56.3%	56.3%	6.3%
40 福岡	84.9%	68.4%	69.7%	11.0%
41 佐賀	88.2%	74.1%	72.3%	9.5%
42 長崎	78.3%	61.1%	64.1%	19.1%
43 熊本	90.1%	69.5%	68.1%	7.3%
44 大分	90.2%	67.8%	69.9%	8.6%
45 宮崎	94.3%	62.2%	68.6%	5.7%
46 鹿児島	76.4%	45.5%	48.1%	21.1%
47 沖縄	83.7%	56.5%	65.2%	15.2%
合計	83.9%	66.3%	65.6%	13.0%

B-7 屋内プールがある学校にお聞きします。以下の項目の検査を行いましたか。(複数回答可)

	1.空気中の二酸化炭素	2.空気中の塩素ガス	3.水平面照度	4.行わなかった
01 北海道	11.0%	9.9%	8.8%	86.3%
02 青 森	0.0%	0.0%	11.1%	88.9%
03 岩 手	22.0%	17.1%	19.5%	75.6%
04 宮 城	25.8%	9.7%	16.1%	67.7%
05 秋 田	0.0%	0.0%	7.1%	92.9%
06 山 形	9.1%	0.0%	9.1%	90.9%
07 福 島	11.5%	3.8%	3.8%	88.5%
08 茨 城	27.6%	6.9%	13.8%	72.4%
09 栃 木	13.2%	2.6%	10.5%	81.6%
10 群 馬	2.8%	2.8%	2.8%	97.2%
11 埼 玉	24.2%	12.1%	15.2%	72.7%
12 千 葉	34.4%	19.7%	26.2%	62.3%
13 東 京	48.3%	24.5%	22.5%	49.0%
14 神奈川				
15 新 潟	70.6%	47.1%	47.1%	29.4%
16 富 山	36.4%	36.4%	36.4%	63.6%
17 石 川	7.7%	7.7%	15.4%	84.6%
18 福 井	41.7%	0.0%	33.3%	58.3%
19 山 梨	22.2%	11.1%	3.7%	77.8%
20 長 野	28.6%	11.4%	8.6%	68.6%
21 岐 阜	33.3%	11.1%	5.6%	66.7%
22 静 岡	10.2%	10.2%	6.1%	87.8%
23 愛 知	21.6%	5.4%	10.8%	75.7%
24 三 重	3.8%	0.0%	0.0%	96.2%
25 滋 賀	25.0%	6.3%	12.5%	75.0%
26 京 都	18.9%	13.5%	8.1%	81.1%
27 大 阪	21.7%	5.0%	5.0%	75.0%
28 兵 庫	13.7%	1.4%	4.1%	86.3%
29 奈 良	30.0%	30.0%	20.0%	70.0%
30 和歌山	10.0%	0.0%	0.0%	90.0%
31 鳥 取	21.4%	7.1%	7.1%	78.6%
32 島 根	23.1%	7.7%	23.1%	69.2%
33 岡 山	13.6%	13.6%	13.6%	86.4%
34 広 島	23.8%	4.8%	23.8%	71.4%
35 山 口	16.7%	20.8%	16.7%	75.0%
36 徳 島	30.0%	30.0%	30.0%	70.0%
37 香 川	30.0%	0.0%	10.0%	70.0%
38 愛 媛	0.0%	9.1%	0.0%	90.9%
39 高 知	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%
40 福 岡	15.9%	3.2%	6.3%	84.1%
41 佐 賀	42.9%	0.0%	28.6%	57.1%
42 長 崎	15.0%	5.0%	5.0%	85.0%
43 熊 本	17.9%	5.1%	0.0%	79.5%
44 大 分	34.6%	7.7%	11.5%	57.7%
45 宮 崎	22.2%	5.6%	16.7%	77.8%
46 鹿 児 島	20.8%	10.4%	16.7%	66.7%
47 沖 縄	12.5%	8.3%	29.2%	70.8%
合 計	22.1%	10.7%	12.8%	75.0%

C-1 水質について以下の項目の点検を行いましたか。(複数回答可)

	1.遊離残留塩素	2.pH値	3.透明度	4.消毒剤の使用状況	5.行わなかった
01 北海道	66.5%	47.1%	45.6%	45.2%	32.5%
02 青森	70.8%	60.1%	55.6%	60.5%	27.6%
03 岩手	88.9%	45.2%	69.5%	70.6%	9.6%
04 宮城	93.3%	71.6%	75.9%	77.4%	7.4%
05 秋田	84.5%	31.9%	60.7%	62.1%	15.3%
06 山形	90.7%	66.5%	79.4%	82.2%	11.0%
07 福島	84.8%	58.2%	69.6%	70.6%	14.8%
08 茨城	89.7%	41.2%	61.4%	65.1%	10.4%
09 栃木	96.1%	52.3%	72.2%	70.3%	4.4%
10 群馬	92.5%	70.1%	68.9%	72.4%	9.2%
11 埼玉	95.9%	59.1%	72.2%	78.9%	4.4%
12 千葉	95.2%	58.1%	67.4%	72.7%	4.9%
13 東京	98.3%	74.9%	68.7%	71.1%	2.2%
14 神奈川					
15 新潟	89.4%	58.9%	58.8%	74.5%	11.2%
16 富山	85.4%	67.0%	66.5%	72.6%	15.6%
17 石川	90.3%	70.9%	77.3%	74.5%	11.3%
18 福井	89.8%	66.1%	64.4%	73.3%	8.9%
19 山梨	97.5%	78.8%	76.9%	78.8%	2.5%
20 長野	97.0%	62.9%	70.7%	76.8%	2.9%
21 岐阜	95.2%	69.0%	70.4%	71.6%	4.8%
22 静岡	94.4%	54.9%	64.2%	68.2%	5.4%
23 愛知	96.7%	90.6%	66.6%	70.9%	4.0%
24 三重	86.9%	68.8%	61.6%	67.3%	12.7%
25 滋賀	94.5%	48.8%	56.9%	71.4%	4.6%
26 京都	91.6%	59.9%	64.8%	67.9%	8.0%
27 大阪	96.7%	74.8%	75.0%	73.9%	4.4%
28 兵庫	94.6%	50.8%	67.1%	67.0%	4.7%
29 奈良	93.5%	66.7%	55.0%	63.0%	6.5%
30 和歌山	90.2%	62.5%	60.1%	58.8%	10.5%
31 鳥取	96.9%	67.9%	73.6%	81.3%	3.1%
32 島根	76.9%	65.6%	66.5%	67.9%	22.6%
33 岡山	83.5%	62.4%	65.2%	58.5%	15.8%
34 広島	91.8%	63.3%	60.8%	61.9%	8.8%
35 山口	95.9%	65.1%	66.5%	75.1%	5.3%
36 徳島	83.8%	50.2%	63.9%	63.5%	14.8%
37 香川	85.7%	71.3%	60.8%	67.5%	14.7%
38 愛媛	89.8%	60.8%	71.7%	68.7%	10.2%
39 高知	98.5%	42.6%	64.7%	52.9%	0.0%
40 福岡	95.1%	62.5%	77.2%	75.5%	5.1%
41 佐賀	95.3%	78.8%	71.2%	72.5%	5.5%
42 長崎	84.3%	53.4%	61.2%	63.9%	15.9%
43 熊本	98.9%	48.2%	67.6%	74.3%	1.4%
44 大分	94.6%	58.0%	72.4%	73.0%	3.3%
45 宮崎	98.7%	95.9%	79.0%	85.0%	1.6%
46 鹿児島	88.6%	32.3%	60.2%	64.2%	9.6%
47 沖縄	88.6%	81.8%	73.4%	63.4%	11.9%
合計	92.4%	62.5%	67.5%	70.3%	7.7%

C-2 附属施設・設備について以下の項目の点検を行いましたか。(複数回答可)

	1.排水口の安全確認	2.循環水取入れ口の安全確認	3.柵の安全確認	4.行わなかった
01 北海道	64.6%	59.8%	41.8%	34.7%
02 青森	74.1%	68.9%	68.9%	25.0%
03 岩手	83.2%	73.0%	68.6%	15.1%
04 宮城	90.0%	82.6%	76.1%	8.3%
05 秋田	79.7%	70.9%	70.9%	18.0%
06 山形	88.9%	82.4%	81.0%	11.5%
07 福島	84.4%	78.5%	77.2%	15.6%
08 茨城	84.9%	76.2%	70.9%	11.7%
09 栃木	91.5%	83.8%	80.9%	7.0%
10 群馬	88.6%	73.5%	72.2%	10.1%
11 埼玉	91.0%	83.6%	80.3%	7.0%
12 千葉	92.3%	83.6%	76.5%	6.6%
13 東京	93.8%	82.8%	73.1%	4.5%
14 神奈川				
15 新潟	88.2%	80.8%	78.8%	10.0%
16 富山	80.4%	70.8%	69.4%	16.7%
17 石川	83.3%	76.6%	76.2%	14.2%
18 福井	85.0%	77.5%	77.5%	11.5%
19 山梨	88.2%	77.8%	66.7%	11.8%
20 長野	86.9%	80.8%	71.4%	9.4%
21 岐阜	84.7%	74.8%	71.1%	12.2%
22 静岡	86.7%	75.4%	72.6%	11.5%
23 愛知	90.5%	80.7%	74.0%	7.0%
24 三重	71.3%	63.6%	64.4%	22.9%
25 滋賀	86.0%	64.2%	66.7%	11.9%
26 京都	84.3%	67.5%	61.4%	13.5%
27 大阪	92.8%	72.1%	69.6%	6.4%
28 兵庫	89.9%	72.1%	70.6%	7.9%
29 奈良	90.9%	68.4%	71.4%	7.5%
30 和歌山	83.2%	74.9%	64.2%	15.4%
31 鳥取	92.1%	81.2%	78.5%	4.2%
32 島根	77.7%	68.4%	66.0%	20.9%
33 岡山	80.8%	72.1%	68.3%	17.9%
34 広島	86.9%	80.4%	70.5%	11.2%
35 山口	90.5%	76.5%	75.3%	8.2%
36 徳島	83.8%	72.6%	71.4%	14.3%
37 香川	81.5%	67.5%	67.5%	16.2%
38 愛媛	87.2%	82.1%	75.1%	9.7%
39 高知	86.2%	69.2%	67.7%	10.8%
40 福岡	88.4%	77.9%	76.1%	9.4%
41 佐賀	93.7%	78.7%	78.3%	5.4%
42 長崎	78.6%	67.6%	64.6%	19.8%
43 熊本	93.5%	77.5%	81.9%	3.8%
44 大分	93.2%	77.1%	78.3%	3.7%
45 宮崎	92.5%	62.8%	80.5%	5.1%
46 鹿児島	86.6%	59.6%	76.4%	11.4%
47 沖縄	88.3%	78.5%	67.6%	11.2%
合計	87.7%	75.7%	72.6%	10.4%

C-3 日常点検結果について以下の項目の記録を保存していましたか。(複数回答可)

	1.水質	2.附属施設・設備等	3.塩素剤等の在庫管理	4.保存していなかった
01 北海道	67.4%	47.4%	47.8%	32.0%
02 青 森	73.0%	54.4%	57.1%	26.1%
03 岩 手	87.8%	51.4%	53.5%	10.9%
04 宮 城	92.1%	66.5%	64.9%	7.8%
05 秋 田	80.5%	46.7%	51.0%	16.9%
06 山 形	91.0%	70.1%	68.7%	8.3%
07 福 島	86.1%	69.0%	52.9%	12.2%
08 茨 城	88.1%	57.5%	58.9%	9.8%
09 栃 木	92.2%	57.5%	53.0%	6.3%
10 群 馬	90.8%	57.6%	59.8%	8.8%
11 埼 玉	95.4%	70.8%	68.8%	4.3%
12 千 葉	94.6%	58.9%	61.4%	4.4%
13 東 京	97.5%	61.3%	60.9%	1.8%
14 神奈川				
15 新 潟	90.0%	72.4%	70.4%	9.0%
16 富 山	85.0%	54.6%	54.1%	14.0%
17 石 川	91.2%	58.6%	56.1%	8.8%
18 福 井	88.5%	55.9%	61.7%	10.1%
19 山 梨	93.6%	59.0%	71.2%	4.5%
20 長 野	94.0%	59.2%	68.5%	4.8%
21 岐 阜	94.0%	56.2%	44.0%	6.0%
22 静 岡	92.5%	50.8%	50.6%	7.1%
23 愛 知	97.0%	66.3%	62.2%	3.0%
24 三 重	85.4%	51.2%	52.3%	12.9%
25 滋 賀	90.0%	53.6%	49.0%	7.7%
26 京 都	89.4%	55.7%	53.2%	7.9%
27 大 阪	94.8%	54.7%	60.8%	4.9%
28 兵 庫	93.9%	53.6%	57.0%	4.9%
29 奈 良	89.9%	48.1%	58.2%	7.1%
30 和歌山	83.2%	41.6%	54.2%	14.0%
31 鳥 取	94.7%	46.3%	47.3%	4.8%
32 島 根	79.6%	52.9%	50.5%	20.4%
33 岡 山	85.4%	48.1%	49.6%	14.4%
34 広 島	89.3%	51.3%	53.2%	9.9%
35 山 口	94.0%	49.0%	52.7%	4.9%
36 徳 島	84.5%	43.9%	44.3%	15.5%
37 香 川	88.5%	61.0%	59.5%	10.0%
38 愛 媛	87.5%	59.9%	50.2%	9.7%
39 高 知	91.2%	47.1%	47.1%	7.4%
40 福 岡	91.5%	59.3%	65.2%	6.9%
41 佐 賀	95.6%	59.3%	54.0%	3.5%
42 長 崎	83.6%	52.8%	57.1%	16.1%
43 熊 本	96.6%	53.2%	53.4%	2.7%
44 大 分	87.8%	54.4%	70.6%	8.3%
45 宮 崎	98.2%	59.6%	74.3%	2.4%
46 鹿 児 島	86.0%	46.1%	51.0%	12.3%
47 沖 縄	87.7%	59.3%	57.1%	13.4%
合 計	91.1%	57.3%	58.3%	7.9%